（年中無休刊）（月曜日休刊）大正八年一月十五日 THE KEIJO NIPPO 第四千六十號（一）（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）

京城日報

本紙定價 一部參錢 壹箇月七十五錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之助

一月十四日夕刊 （朝夕併せて八頁）

◇講和と露國運動
講和會議に於て露國の利益を監視する爲め露國有力者を以て中央委員會を組織しサゾノフ公を委員長とし倫敦、巴里、羅馬尼、馬爾、華盛頓駐劄露國大使之を援助す可くオムスク政府、アルハンゲル（北露）政府首相等も右委員會に加入せん事を勸告され居れり同委員會を全露聯立政治團體と認め各派共通の政綱を決定し聯合國に對し委員會としての決濟を請ふ可しと（倫敦電報）

◇英佛首相の成功
巴里よりの報道に據れば英首相及び佛首相は海洋自由問題に關し大成功を收めたり多分本問題は實際の講和會議に上らざる可し（倫敦電報）

◇日本側任務重大
聯盟主義論爭のみか
國際聯盟問題は單に聯盟の主義に就て論爭行はる可しと豫想せらる斯くして其重要なるを立證せられつゝあるも聯盟の實際組織は尙後日の事なる可し講和會議は先づ獨逸次に墺匈國の順序にて議せらる可し日本委員は常設會議に列席して總ての問題就中純粹に歐洲に限られたる問題の討議にも參加す可し日本特使の任務は日本に於て考へられつゝあるよりも一層重大なる可し（巴里電報）

◇新内閣と勞働黨
首相ロイド、ジョージ氏の要求に基づき政府閣員全部は總辭職を爲せりデーリーメール紙所報に據れば前内閣々員たりし勞働黨員即ちジョージ、ハンス、ジョージ、ロバート、ジョージ、ワードル、ステフエン、ワルシユ、ギルバート、バーカーの五氏は孰れも新内閣に就職を承諾せりアスキス氏は依然自由黨首領たらん事を欲し貴族に列せらるゝ事を辭退したり（倫敦電報）

◇英國新内閣
某筋著情報＝英國内閣はロイドジョージ氏の要求に依り總辭職を爲せるが後繼内閣顏觸は左の如し
總理大臣ロイド、ジョージ　國璽尚書ボナー、ロー　樞密院議長ロード、カーゾン　無任所大臣ジョージ、バーンス　無任所大臣エリック、ゲデス　外務大臣エー、ジエー、バルフオーア　内務大臣エドワード、ショート　植民大臣ロード、ミルナー　陸軍大臣兼航空大臣チャーチル　海軍大臣ウオター、ロング　印度事務大臣モンター、ギマー　大藏大臣オースチン、チャンバレン　勞働大臣ホーン　國民服役及改造大臣サー、オークランド、ゲデス
從來五名より成りたる軍事内閣は今回廢止され以上の多數内閣組織さるゝに至れり又商務大臣等は内閣に列せざる單なる行政長官となれり（東京特電）

◇伯林依然渾沌
某所著電＝九日より十日に亘る伯林の狀態は依然として渾沌たり各省其他の公衙新聞社等の周圍に於ては激戰止まず九日迄の死傷者は約二百名と想像せらる　政府側は補充諸隊及び志願兵等の應援を得て態度强硬なりと傳へらる。從來中立の態度を維持せし海兵の大部分はスパルタカス團に加擔せりと。各地方に於ける過激派の活動盛んなるに徵すれば未だ政府側の樂觀を許し難く、スパルタカス團は國民議會の召集を妨害せんとする意圖を以て混亂狀態の維持に努力しつゝあり、特に其開會日たる十一日には大々的同盟罷業を實行せんとし今やドレスデン、スツトガルト等も不穩を呈し居れり（東京特電）

◇ス團撃破さる
桑港來電＝伯林の形勢に關する各地よりの報道に依ればエベルト軍はスパルタカス團を撃破しエベルトは多數の志願兵と接近しつゝあり（東京特電）

◇エベルト側優勢
伯林公報に曰くエベルト政府側の形勢は日增し鞏固になりつゝあり一方示威運動を爲しつゝある叛徒の數は次第に減少しつゝあり（ストツクホルム電報）

◇ス團首領の遭難
スパルタカス團首領リープクネヒトは八日夜ウンテル、デン、リンデンに於て暴徒の爲め貸自動車より引下されたるが大事に至らざる中にスパルタカス團の爲に救はれたり（ストツクホルム電報）

◇犬猫を喰ふ露都
露都の慘狀言語に絕し市民は犬猫を喰ひつゝあり勞農政府は世界的革命煽動の爲め莫斯科に煽動者養成所を設置し右の附帶機關を造り歐米は勿論印度、支那、日本等へ多數の煽動者及び巨額の煽動費を送りつゝありとの說あり（ストツクホルム電報）

◇聯軍の出動を恐る
某所に達したる斯德堡よりの報道に依れば露國勞農政府は獨逸の政變に依る聯合軍の出動を恐れ赤衛軍の組織に全力を盡し今や八萬の軍隊を有すと傳へらる（東京特電）

◇講和委任狀
西園寺侯以下五名の講和全權委員に對する委任狀は十二日夕刻御裁可を經たるを以て五通の委任狀は十三日外務大臣秘書官之を携帶して神戸に赴き十四日西園寺侯に手渡しすべしと（東京特電）

◇外相見送見合
内田外相は西園寺侯見送りの爲め西下の筈なりしも都合に依り見合せたり（東京特電）

◇高等教育機關
九年度設置地
大正八年度に於て設置す可き高等教育機關設置地は既報の如くなるが九年度に於て設置に決せるもの左の如し（東京特電）
藥學專門學校一（東京）高等學校七（大阪、神戸、浦和、靜岡、廣島、高知、福岡）高等商業學校四（橫濱、彥根、福井、和歌山）高等工業學校二（濱松、長野）高等農林學校一（宇都宮）

◇矢矧近く凱旋
馬尼拉方面に出動中なりし矢矧艦は近く凱旋せん（東京電報）

◇陸軍關係勅令
十三日の官報を以て勅令第二號軍給與令第二十六條但書の規定に依る食料定額增加の件及び同第三號朝鮮總督府試驗所々屬土地建物及び器具機械を賣却すべく隨意契約を爲すを得るの件公布せられたり（東京特電）

◇渡邊顧問辭職
十三日左の通辭令ありたり（東京特電）
臨時編纂部顧問　渡邊千秋
依願免本職

◇田中伯辭職か
田中光顯伯は臨時帝室編修局總裁を辭職す可く兩三日中に辭表提出す可し右は渡邊千秋氏辭職の理由と同樣なりと傳へらる（東京特電）

◇林男慰勞宴
十三日夜帝國ホテルに於て前支那公使林權助男の慰勞宴を開けり（東京電報）

◇滿毛補給說
滿蒙毛織會社に對しては來年度以降每年十五萬圓宛四箇年合計六十萬圓を補給するに決し現に關東都督府八年度豫算に該補給額を計上しありと傳へらる（東京特電）

◇清水東宮武官
東宮殿下の御思召を以て西伯利駐屯軍慰問の爲め巡視中なりし清水東宮武官は十二日午後八時四十分長春より來奉瀋陽館に一泊十三日朝撫順に向け出發せるが直ちに引還し大連旅順方面に向け出發の豫定なり

烏拉爾より（三）
從軍記者　金谷眞

◇チエリヤビンスクのチエツク軍司令部には殆んど聯合軍各國の武官が居るが支那からは李派軍少佐が來てゐる、少佐は米國で潜航艇を研究したのであつた
◇ウラル附近では髮の毛や眼の球の黑い者がなつかしい、假令それが朝鮮人であらうと支那人であらうと構ふことはない、更にキルギス、韃靼、バスキール、土耳古も同じ兄弟ではないか
◇朝鮮人といへばチエリヤビンスクに廿人、エカテリンブルグに十四人居る、前者は多く賣卷きを業としエ市のは多く商人である、支那人なぞは露人と爭つても多くは泣寢入であるが朝鮮人は日本の保護をうけて大威張である
◇ウラルの山からはあらゆる金屬が出る寶石が出る、洵に便利な山である、白金は曾て露國の政府がウラル產を以て通貨を鑄造せんこ試みた程であつた、鐵も出る石炭も出る鹽も出る
◇ウラルの寶石は世界に聞ゑた名物であるが昨今は過激派の動亂に品物が極めて拂底である、それに昨年露國が金の輸出禁止を斷行して以來利に敏き猶太人等は下落せる露貨を以て寶石を買求め、どし〳〵これを國外に持ち出したので價格は非常に不廉くなつた
◇寶石はエカテリンブルグの停車場に賣つてゐる、チエリヤビンク及びオムスクの停車場にもある然し市中の大きな店舖は過激派の跋扈時代に悉くその掠奪を避けたといふことである
◇寶石はエカテリンブルグが產地してある、これは礦山から持ち出した品をエ市には五箇所の工場で磨きあげるのでエ市には五箇所の工場があるが他に佛蘭西に輸出されて磨かれる品も莫大である
◇またウラルの礦山に傭はれた外國人は英、佛、獨、瑞典人の多數を占めて居るが就中佛は最も多數である、それが爲めエ市には佛蘭西の領事館を設置せられてある
◇佛蘭西といへばウラル地方から歐露ウフアにかけては到る處佛軍萬歲である、獨逸に勝つた佛蘭西は實に偉いといふので女なぞは從來よりも一層佛蘭西語の稽古に熱中して來た、ウフア市にある佛軍などは街上至る處で萬々歲である
◇序に從來露國の旅行者は假令露の本國語を識らずとも佛語さへ知れば自由に智識階級とは會話が能きた、今でも奧さんらしい人から「貴下は佛語をやりですか？」とよく訊かれる（十二月十二日チエリヤビンスクにて）

◎過激派思想の凋落
米資本の西伯利活動說
ジヤパンタイムス社長　頭本元貞氏談

西伯利亞の近況を觀察し歸京の途鮮ホテルに滯留せるジヤパンタイムス社長代議士頭本元貞氏は曰く
余の西伯利旅行は僅に浦鹽に十五日滯在し哈爾賓を三日間視察したる位なれば▲西伯利旅行などゝは聊か大袈裟なり東京を出發せるは舊臘十二月十七日にして門司より御用船に搭乘直ちに浦鹽に向ひ新年は思はぬ異鄕にて迎へたるが先づ著浦匆々余の注意を喚起せるものは所謂全露政府はオムスクに樹立せられあるに拘らず尙ほ浦鹽が幾多政治の中心となり居れる事なり又或る一派の傳ふる如くんば浦鹽は如何にも無秩序不統一極まる處の如くなれど來て見て始めて事實の然らざるを知るを得たり假へば地方自治の如き一絲紊れず整頓し毫も▲混亂の跡を見ざりき而も同地の秩序は在留露國人の協力こ聯合國側この援助によりて充分に保全され行政事務は依然露國人に依つて各行政機關は何等損せらるゝ無く行はれつゝあり殊に市中の警備機關――中にも消防組織は先進國のそれこ決して遜色を見ざる程度に完備されあり一例を擧ぐれば余は浦鹽滯在中兩三回火災を見たるが敏速にして而も消防機具の立派なるに一驚を喫せる位なり過激派分子は今尙ほ浦鹽內に多數潛在し今日にては全く其の跡を收め居れり余は滯在中浦鹽市會議員の選擧を見たるが全市の有權者九割位は殆んど棄權し投票者は僅に一割位なりしが其の九割の▲投票棄權者　中には多數の過激派分子を包含し居たりこ云ふが現在は全く溫和派の天下にて該市會議員選擧の如きも溫和派の大勝利に歸したる由、これに依りてこれを觀るも過激派思想の凋落を雄辯に物語るに非ずや又近來米國の資本的侵略主義なるものを西伯利地方にて喧傳する徒ありこは僅に米人の感情を害するのみならず延いて日米親善の上に大なる陰影を投ずるものにして余は事實に徵して決して然らざるを辯護する者なり何こなれば米國人の彼の地に於る赤十字事業や將た米國▲基督青年會　活動の如き毫も米軍隊こ脈絡なく而も或る意味の野望を發見する能はず而も米國にては此の忌まはしき誤解を醸成するを恐るゝの餘り日本に永住し且つ最も日本通の名ある人物を選定し居り二三の例を擧ぐれば西伯利赤十字事業會社監督のフレーザー氏の如き救濟事業のビスカッター博士の如き青年會のフェルプス氏又は幹事のグリーソン氏の如き最も日本國を理解し日本語に堪能なる人格者を選び何彼こ日人側この協調を圓滿に進行しつゝあれば此際日本こしては西伯利に於ける米國に對して▲一種の猜疑　を捨て亡滅せんとする露國の援助に努めざる可らざるなり

◎總督出發
長谷川總督は豫定の如く李王家御慶事參列の爲十四日午前八時四十分南大門驛發列車にて官房職員を隨へ東上の途に就けり驛には各部長官局長並に諸屬官署長軍人民間有力者多數の見送りありたるが特に朝鮮貴族並に有志の見送り多數ありたり

◎御婚儀參列者
廿五日東京に於て御擧式相成るべき李王世子垠殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀に昌德宮德壽宮兩宮御使並に李王職々員參列者左の通り決定十四日李王職より發表せり
李王殿下御使　李王職長官子爵　閔丙奭
李王妃殿下御使　同贊侍子爵　尹德榮
李太王殿下御使　同贊侍子爵　趙民熙
李王職事務官　國分象太郎
李王職事務官　田中遷
李王職贊侍　田中德太郎

◎定例會議流會
十四日は定例長官會議日なるも總督不在の爲め流會となれり

◎露國元日挨拶
十四日は露國に於ける一月一日に相當するを以て村田總督附武官は總督代理として露國領事館に赴き挨拶を爲したり

◎郵貯規則改正
郵便振替貯金規則中改正の件及び集金郵便振替貯金拂込規則中改正の件は何れも十五日の官報にて發布即日より施行のこゝなれるが右は紙價及び印刷費昂騰の爲振替貯金拂込書同拂出書及び振替貯金等の調製費は賣捌價格を超過するを以て今回爲替貯金局に於ては同用紙類賣捌價格を引上げ大正八年一月一日より實施することゝなりたるに依り朝鮮内に於ても亦其事情同一にして内地同樣に賣捌價格を改定する必要を認めたるに依るものなり

◎朝郵立神丸購入
日本海航路就航船改まらん
朝鮮郵船會社にては曩に日本郵船會社よりその所有船立神丸（重量二千九百四十五噸）を購入（元山報には傭船こありしも誤り）する事に確定せし旨東上中の松崎專務より本社に來電ありしが
▲朝鮮郵船　は曩に清津敦賀間航路の經營を受命以來その條件たる二千噸級船以上の鋼船を配すべく各造船所に向つて新造の交涉を試みしも時節柄造船事業の繁忙こ鐵材缺乏の結果容易に之れを引受くるものなく漸く橫濱船渠會社に於てその建造を諾したるも米鐵の輸入意の如くならざる關係上この新造汽船[illegible]測し難く亦汽船業者に於ては同船型の貨客船を手離すものなく偶ま是れあるも價格非常に高價にして到底橫斷航路就航船こして採算困難を來し朝郵に於てはその配船に苦慮しつゝありしが遂にその親會社こ目すべき日本郵船に對し過般來
▲立神丸の讓渡　方懇談中の所日本郵船にては事情を諒こし今回特に割愛するに至りたるものにしてその受渡は目下陸軍御用船こして提供中のため多分來る四月頃こなるべし尙ほ立神丸は久しく日本郵船の阪神北鮮航路に就航し朝鮮には關係深き汽船たり船體堅牢無線電信その他の設備完備しその橫斷航路就航の曉は北鮮對裏日本の交通に一新面目を來すべし貨物積載は二千六七百噸こして現在に比し約千噸を增加する由
▲平安丸　現在橫斷航路の就航船たる平安丸は立神丸こ交替後阪神浦鹽線に就航すべしこ

◎朝郵浦鹽續航
結氷期も休止せず
朝鮮郵船會社の浦鹽航路は同港結氷の爲め舊臘來休航の事に決定し居りしが西伯利駐屯軍隊尙ほ全く撤退せざるため物資の輸送は相當繁忙の狀態にある事並に露國義勇艦隊に新春以來浦鹽北鮮航路の經營を開始せし等の關係上安閑こして結氷期間の休航を續け難き事情あり同會社にては平壤丸に碎氷設備若干を施し嚴冬中も之れを續行する事に決定し十四日元山發より再開せしが何等か特種の事情を生ぜざる限り續行の方針なりこ

◎新春の通貨
新春以來金融界は回收に傾き通貨は漸縮傾向を辿り居り八日鮮銀券の發行高は一億一千萬圓臺を割り十一日は一億八百卅萬圓こ舊臘末に比し約七百萬圓の收縮を示せしも米穀出廻りの全盛こ滿洲方面に於ける大豆資金の需要は發行も相當に增大し十三日現在に於て又復少額の膨脹を示し一億八百七十萬圓を示したるが目先縮少狀態を續くべしこ

◎京畿林野地區
京畿道管内に於ける朝鮮林野調査令附則第二項の地區は今般高陽、始興、富川、水原、振威、金浦、江華、坡州、長湍、開城、楊州の十一郡に指定されたりこ

◎商業學校設立
京畿道にて這回設立すべき開城の商業學校は中等程度の鮮人敎育機關にして既に其工事に着手し居れるが本年度內には其工事を竣工せしむべく京畿道立の商業學校こして本年四月より生徒の入學を許可し直ちに開校の運びに至るべしこ之に關し
▲入澤第一部長　は開城は御承知の如く古來朝鮮に於ける商業地こして知られ道こしても商業學校設置の必要を認め居りしものなり這回之が設立の運びこなり來年度より開校するを得るは欣幸こする所にして此種敎育機關の增設せらるゝは殖民地開發上誠に喜ばしき現象こ言ふべしこ語り居れり

◎國澤理事長
滿鐵會社理事長國澤新兵衞氏は沿線視察のため約二週間の豫定にて十三日夜大連を出發したり

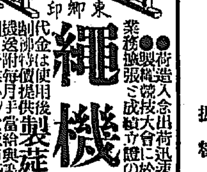
◎忘機吟社例會
忘機吟社月次例會は新年會を兼ね十九日午後一時より塔洞公園內青木堂にて開催し出席會員は當日各自揮毫の半折の書若くは畫を携帶せられたしこ

人事消息
▲齋藤義夫氏（長谷川元帥副官）十四日朝東上の筈なりしも都合に依り同夜出發の事に變更
▲赤木萬次郎氏（平壤中學校長）▲關本幸太郎氏（大田中學校長）十三日夜入城京城ホテルへ
▲小山庄三氏（鈴木京城支店長）神戶本店こ事務打合せのため內地旅行中の所十日歸城
▲竹村利三郎氏（一銀京城支店長）東上中なるが二十日頃歸城
▲山口隣男氏（大每特派員）內地旅行中の處十四日朝歸城
▲久保京管局長　長谷川總督見送の爲釜山に出張したるが十五日朝歸任

八面鋒
◆中歐諸國が離亂混亂國家こしても、社會こしても、殆ご收拾すべからざるドン底に陷りつゝあるは近時の情報に依りて察せらるゝを得べし。聯合國が講和の準備を急ぎ、着々其步を進めつゝある一方に於ては、相手國たる獨墺の崩壞漸く極點に達せんこす
◆斯くて歐露の秩序亦何時回復すべくも非ず。新に文明世界の建設に盡力せんこする聯合與國は、此の崩壞諸國及び其國民を如何に處理せんこするか、抑もまた何人を相手に和を議せんこするか。
◆獨、墺、露が主權の存在明確ならざるは勿論、隨つて國家の形體をも具備せざる現狀を以て、何人が其國こ民族こを代表し得るのぞ。聯合國の講和準備は可なり、然れごも終に獨り相撲の觀なしこせず。斯くて大戰の終局は何の時に於てか決すべき。洵に厄介千萬也。今日に於ける與國當面の問題は、寧ろ相手國の秩序をして、速かに回復せしむるの方法にあるのみ。
◆[illegible]彼等の騷動病は最早慢性こなり居れり。故に當人等は他の思ふ程の苦痛は感ぜざるべし。されば彼等が普通一片の投藥にて全治するは難し、不如速かに血清注射をなすに。斯は寧ろ、聯合國の親切こ知らずや。
◆支那南北妥協も、進まんこして進まず。[illegible]又頑固反對民治實行を標榜して、新政黨組織の計畫ありこ傳へらる。彼又如何なる風雲を捲起せんこするか、支那政界は更に愈多事を添ふ。

大利益ある良副業
政府獎勵緬羊の飼育
▲農商務省では二三年來外國から緬羊を輸入し北海道栃木千葉熊本等に飼育した結果何れも好成績であつたので政府は緬羊を無利で貸下げ其飼育を獎勵してゐる▲緬羊は小舍內に養はれ飼料は農家の廢物利用でよい其毛は各毛織物會社でも陸軍省でも買入れるが殊に一頭分の毛でも小包で送れば買上げて呉れる▲それで牛馬の爲め働かせた上に一頭飼ふだけの飼料あれば緬羊は優に八頭迄養はれ一頭に付年五六十圓八頭では五百圓近くの利益が得られる且多くの肥料も出來るから農家の副業こしては大に有望である▲東京神田三崎町二丁目大日本畜產研究會は緬羊講義錄を發行し緬羊の飼育法は勿論緬羊貸下願手續まで詳細に指導して居る希望の者はハガキにて申込次第說明書規則書を送呈する。

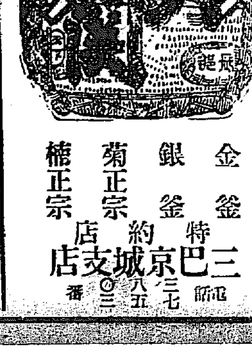
平壤 京谷商店製
耐火煉瓦販賣
京城古市町
苫米地商店
電話九四一、三一〇八番
振替京城五三番

最新式　バカー附

東郷印
繩機貸附
●荷造入念出荷迅速は弊店の特色●製繩競技大會に於て一等賞拜領
業務擴張こ成績立證の爲め一郡一臺宛先着順に
代金は使用後製品を以て御返濟 製莚機も特價提供 特約店へは店備附
圖入營業案內送呈
大阪市築港 電西五〇七 藤田商店

補缺會員募集 一月十六日より每週月火木曜
每開會日外人敎師出席敎授す（午後七時半より）
旭町二丁目メソヂスト敎會構內 電話一五六五番
實用英語夜學會

正しき補血強壯强精劑
ブルトーゼ
一瓶容量一五〇丸入（約半月用量）各地藥店にあり
發賣元 大阪 東京 藤澤友吉商店
說明書進呈

今回當會理事（大陸之京城）著者阿部辰之助儀鮮內各道視察ノ爲メ來ル廿日ヨリ向ヘ一ケ月ノ豫定ヲ以テ當地出發南鮮地方ヘ出張仕候ニ就テハ京城ト各地トノ連絡ヲ要スベキ用件有之候ハヾ來ル十八日迄ニ當會宛御申出相成度此段謹告候也
大正八年一月十二日
京城櫻井町一丁目廿九番地
京城調査會

銘酒

金釜　銀釜　菊正宗　樽正宗
特約店
三巴京城支店
電話[illegible]番

呉服 京染 白生地販賣
合資組織
京屋染物店
京城本町二丁目八六
電話長一四〇番 振替京城五一九九番

大正七年七月一日改正現行
[illegible]

ヴォルガ平野の戰線を視る（二）

歐露の穀倉と呼ばれるヴォルガの水系は歐露人口の二分の一を占めてゐる

お前達は何故眠つてゐる、眼をさませ！韃靼の人達よ！

歐露の第一線ツイマダ驛にて 從軍記者 金谷眞

ヴォルガ平野の白虎隊、カッペル兵團の司令部はツイマダ驛の間近に在つた、停車場から氷柱の下つた市井戸の傍を過ぎて進んで行けば銃劍着けた歩哨の立つた門に參謀長ロヂロフ大尉が出迎へて呉れた、大尉は胸間にウラヂミル勳章とゲオルギー勳章を佩て眼光の鋭い人である、誘はれるまゝに扉を排すれば暖爐が春のやうに暖かであつた、先づ入口第一の室には電信及び電話室があた、その次の部屋は參謀の室で

鶯色の軍服

著けた丈高き青年將校が交る〲握手の掌を差しのべた、此の時四十歳ばかりの痩せ形の引き締つた面の軍人が出て來た、誰かと見ればこれが噂に聞いたカッペル將軍其の人であつた、將軍は寡默寡言の人とその引締つた唇は果斷に富んだ如くに見えた、案內の參謀長は再び隣の寢室を見せた『これが將軍カッペルの寢室です』と指示されたのを見れば穢な寢臺に木屑が載せてあつた、並んで參謀のものには四角な木箱を並べたものもある、而も頭と足とが衝突しさうな狹苦しい一室であつた、辭して出づれば厩舍があつた、喰は土で塗つて防寒の用意はあれど裡の軍馬は寒さうに蹄を搔き鳴らしてゐた、參謀長は更に停車場構內の列車に案內した第一番には將校の

炊爨車であ

ると貨車の中央に巨きな鐵製の竈を置いて傍らには麵麭や牛肉が陳べてあつた、次に電信車を見ると機械は文字のまゝに押して文字のまゝに現はれる便利なもの露國の軍人は互に將軍までがこれによつて自由に通信する由である、續いて印刷室を覗いた、周圍は總て活字の棚で小さい印刷機械は盛んに司令官の命令書を印刷してゐた、午前十一時半、參謀長はこれから戰線に往くとになつた、桑木大尉と共に參謀長の自動車に同乘すると前には二人の運轉手が坐つて車は雪の大曠原を疾驅して行く、道はゆるき波状形の野山、多少の高低はあれど概ね廣き黑土帶の大平野で

歐露の穀倉

と呼ばれたヴォルガの水系には實に歐露人口の二分の一を占めてゐるといふのも無理はない、しかし此の邊は唯だ韃靼人の寒村のみで人煙甚だ稀な處である、われ等の自動車は凍つた道路を急ぐ兵士達や、橇、走らする韃靼人等を追ひ越しつゝ、骨を刺すやうな風を衝き進んだ、とあるゆるやかな丘を越ると眼下には廣いイク河の流域が開けて道の行手に韃靼人の村が見え出した、巨きな撥釣瓶井戸のある村に這入ると粗末な家の垣根から韃靼人の女や子供が覗いて見る、水を汲んで歸る兵士が車上の參謀長に敬禮するのもある、車の止つた家はカザン狙擊旅團の司令部で此のヤブレコウオ村唯一の立派な建物であつた、近所隣は廢頽の穢少な家ばかりで

白い裘衣を

著た男や幟を伏せ毛皮を裏返しにしたやうな帽子の韃靼人が自分等東洋の珍客を物珍らしがつてゐる、吃驚するな!!!眼球と髮の氣の黑いお前達の仲間がやつて來たのだ、お前達の身體には昔し歐洲の諸國を蹂躙した先祖の血潮が流れてゐるぞ!!!それにお前達は何故眠つてゐる?眼をさませ!!!眼をさませ!!!韃靼の人達よ!!!自分は髮の黑い彼等が懷かしかつた、司令部に入ると粗末な木机の向ふに旅團長ベルフーロフ大佐と砲兵旅團長バッチン大佐が居た、ベ大佐は黃色の毛髮の逆立した勇猛らしい人でバッチン大佐は曾て朝鮮に居た東少將に似てゐたのも面白かつた、大佐はカアキ色の木綿綿入れの上衣を著て

最前線に立

つて戰ふ人だけに居たが共に包閑中の露軍中の嘯々たる人と見うけた、室內にはまた騎兵、歩兵の中隊長らしい青年士官も居た、彼等は金絲の線を入れた紅い幟のやうな帽子を冠つてゐたが『これは韃靼人がチユビチエイカといふ帽子です』此の上にまた斯うして軍帽を冠ると』說明して呉れた、次に兵士の食事を御覽に入れようと黑麵麭と肉汁とお茶が出た、も一つ此の地方名物の蜂蜜を嘗めたのは美味であつた、此の時高架索の一士官は劍を拔いて鄕土の舞踏を見せて呉れた、口に劍を啣へつゝ手を動かし脚を跳ね更に猛烈に劍舞するあたり頗る興趣深きものであつた『タガーノフ進尉を紹介します、進尉は勇敢なるバスキール人の聯隊長で從來十四年間帝國の下士であつた人です、這回選ばれてバスキール人五百人の統率者となりました、德望のある人です……』と一士官が語つた、見れば一見東洋人らしい容貌の男で髮も黑く日本人そつくりであつた、バスキール人は此地方に多く韃靼人とフィンランド人の混血兒であると聞いた

觀戰畫報

カザン狙擊旅團の將校（上）と韃靼人の柱曆（金谷生）

特使出發

西園寺侯一行は十四日午前十一時神戶解纜の丹後丸に搭乘出發せり官民の見送り盛んなり（神戶電報）

列強唯一の大戰艦……

四萬噸の長門艦

吳工廠にて建造中七月中旬進水
乘員千六百工費三千萬圓

吳海軍工廠にて建造中の大戰艦長門は昨秋進水の豫定なりしも時局の爲め職工の不足と一方河內の解體作業のために延期の止むなきに至りしが其後工事を督勵せる結果來る七月中旬の滿潮時を以て進水の豫定なり同艦は

◇歐洲大戰 の敎育を基として艦砲及機關の各部に當りて大に最新式のものに計畫替をなし目下工事中に在るが三萬六百噸のものを增大して一躍四萬噸となしたる事とて造船渠船臺の全部を使用し在り其の攻防の威力を增加したれば現在の超弩級の

◇最新式の 伊勢の二艦以上に比較するもの速力亦巡洋戰艦の如きものあり河內の例に依り火藥庫の大改造を施しあり主力の如きは十四浬より一躍十六浬搭載するもの能く三十海里の遠地を擊破すべく乘員千六百にて工費

◇三千萬圓 を要し帝國海軍中最大にて米の巨艦ペンシルバニア號を凌駕する大戰艦にて列強唯一也（吳）

新設 九州農科大學に

農學、農藝、化學林學の三科を
大學長に內定した本田博士

『まだどうなるかに分らないのだがね……』

九州帝國大學內に新設さる農科大學は昨年來古在東京農科大學及び朝鮮總督府水原勸業模範場兼農林專門學校長本田博士とが腰協議を凝らした結果敷地は福岡市外の工科大學と隣接せる土地を選んで建築する事となつた而して新設の

◇農科大學 には農學、農藝、化學林學の三科が置かるゝ事になつて居るが此の學長たるべき人は學識聲望共に高き本田幸介博士に內定したので博士は來る四月水原を引き拂ひ福岡に移轉する事となり目下移轉準備中であるが記者が水原にこの寓ひの家を訪ふと鼻眼鏡の博士は『まだ何うなるか分らないのだがね、書生と小間使と吾輩の三人と云ふ小家族だから引越しだつて譯はないさ』と語つて居た尚は

◇敎授には 博士の水原農專敎授であつた農學士中田覺五郎氏外四名は既に確定して留學することゝなり既に中田氏は渡般水原を引拂つて留學の途に上つた本田博士の後任はまだ判然しないが、現中央試驗所長農學博士豐永眞里氏が呼聲が高いから多分同氏が後任に坐る事となるであらうとの評がある

◇又一說に よると元千葉高等園藝學校長現水原農林專門學校敎頭鏡保之助氏とも傳へられて居る又本田博士九大農科學長に就任と同時に水原農專卒業生は九大農科に入學の特典を得るに至るであらうとの事である

農科大學長に內定した 本田幸介博士

雜種は……

良質ではない

進歩に伴隨し相當に純理を理解して…… 五島博士談

近來所謂血族間の婚緣が必ずしも有害ではないといふ優生學上の議論を進めて五島博士は語る 英國では死せる妻の姉妹と再婚することを非常に不吉な又不可なることゝしてゐる之等は日本邊では寧ろ探して求むると言ふ風習があるではないか此んな事も矢張り一種の宗敎的若しくは

▽感情的な 觀念から起つた風習で決して學術的理論若しくは生物學上其可否を決した譯ではないのであるから又異民族と人種の結婚の如きも一般的には其の可否を論ずることは出來ないが從來の例に徵すると雜種と言ふものは餘り良質でないと言ふ結論を得るのである、ユダヤ族及びチユートン族の結合に依る雜種の如きが之を證して居る樣に思はれる世間の人には多く人の優劣を一のチャンスの如く心得てゐる向もあるし又

▽後天的の 境遇に因るものだと斷定してゐる向もあるが人は單に後天的境遇若しくは敎育の如何に因つてのみ優劣を來すものではない其處に種子を選ぶことが必要である農作物にして見れば後天的の境遇なり敎育なりは一種の肥料の如きものであつて之れのみ良くつても其の種子を選ばなかつたならば優良品種の作物は得られないと同樣である而し所の如きことは單に

／純理のみ に因つて結論することは出來ない處に感情を交へなければならぬ事であるから中々一朝にして結論する事は不可能な事である米國の如きは既に七八年以前優生學に關する人種改良の法規を發布してゐるそれは極めて不良く純質なる女性に對しては法を以て其の生殖機能を不可能ならしむると言ふのであるが斯の如き項目の種類は今後漸次增加されて行くことであらうと思はれるので要は生物學の進歩に伴隨して

▽優生學の 示す所に從ひ社會が夫々相當の自覺を以て遺傳の純理を理解して行くことが必要であらうと信ずる

桂月氏慶州へ

滿鮮巡遊中なる大町桂月氏は十二日午後四時九分著列車にて來邱四時三十五分發輕鐵にて直ちに慶州の古蹟視察に向ひたるが十四日更に同地より浦項發一番列車にて佛國寺に引き返し同所視察の上蔚山方面に向ふ豫定なりと因に總督府よりは學務局加藤囑託同伴し尚慶州浦項の視察には輕鐵會社員東の任に當れる筈なり（大邱）

大連逢阪町心中

十三日午後二時大連逢阪町遊廓太平樂樓抱へ酌婦廣島生れ古彌事木下よし（一七）と同町口入業和田喜次郎方同居人野上隆造（二八）は意ふ死を覺悟し女は左頸部を切斷して即死し男は咽喉部を突き容態危篤なり（大連特電）

養女を殺す

虐待し續けて……

高陽郡漢芝面下往十里三百八十三番地鄭姓女（四）は養女池阿只（一三）に對し平常碌々食事も與へず扶養の義務を怠り虐待を續け居たるが養女池阿只は去る一月五日養母宅に同棲せる金昆澳（一三）の金膳を空腹の餘り盜み食ひたる爲め金は嚇怒して池阿只を毆り殺し屍體は夜陰に乘じて附近の河堤に埋葬し居たるを京城憲兵分隊に於て探知し直ちに養母鄭姓女及び金昆澳の兩名を逮捕し被害者の屍體は同十除より中潮面司晋及び宮地に出張して十四日梨泰院墓地に於て解剖に附したるが尚被告兩名に就ては餘罪ある見込にて取調中なり

活辯拘引さる

兼二浦座出演中

兼二浦座興行中の活動寫眞辯士橫須賀松原坊三百四十三番地當時京城本町三丁目原弘事本籍兵庫縣武庫郡西宮町住所不定藤原秀夫（三〇）は京城本町署管內に於て窃盜を働きたる廉により同署よりの照會にて十一日兼二浦座出演中を兼二浦駐在所の手に捕はれ翌十二日同所森川巡査により本町署に押送せられたり（兼二浦）

勸農會社燒く

倉庫四棟住宅二戶

十二日午前一時永村里朝鮮勸農株式會社社員舍宅より出火し住宅二戶一棟、同會社倉庫四棟燒失したるが原因は温突の火が藁葺屋根に燃移りたるものにして損害は約三千圓なりと

福柳と藤の川

＝二日目の殊勳者

相撲の二日目は頗る意外なる番狂はせを見せた夫は東の前頭福柳が西の小結鳳を破り西の前頭筆頭藤の川が剛大錦を屠つたことである是が番狂はせでなくて又何をか番狂はせと云はんやである、福柳は出羽の海部屋に屬し新進鋭利の男子明治四十二年福岡で合併相撲の時今の出羽ノ海と

◇師弟 の約を結び角力から取進んで場所毎に好成績を得て昨年一月入幕し二場所續けて異常の好成績を收め鳳を破つたのは是れで二回目である、彼れには常の花程の花々しい特技はないが四つに渡つて寄り身の早きは常に讓る所なく足癖、捻りなどの秘手もある、大錦を倒した藤の川は西方稀に見る元氣力士、前場所では對馬洋、源氏山、宇都宮、御西山、一湊、釋迦ケ嶽、大門岩の

◇諸剛 を總舐にし常の花、柳、八甲山の三人に負けた丈と云ふ非常な好成績、其功によつて今回七枚躍進して前頭の二枚目を占めたのである、入幕したのは昨年の一月場所、福柳と同時である

露西亞の元旦

新暦より二週間遲れて行はれ十四日が元旦に相當する

本庄幽蘭

藝妓となる

◇大阪南遊廓大垣樓の◇

本籍東京市芝區南佐久間町一丁目一番地當時大阪市南區新世界合邦通り山崎券番山崎龜次郎方寄留本庄久代（四）こそ新世界警署に出頭した女は何處をどう廻つて來たのか例の幽蘭女史なり『恭しく感ずる所あり新しく大阪の遊廓に現はれ活躍する所あらんとす願はくは鑑札を下附せよ』然し娼妓にあらずして藝妓なりとて南遊廓大垣樓事稻川辰藏の抱へ藝妓として鑑札を下附され意氣揚々として引取たり（大阪）

東京大相撲

二日目（朝刊の續）

二日目勝負中左の通り訂正す
釋迦ケ嶽（寄り切り）阿蘇ケ嶽
三杉磯（押し出し）源氏山
對馬洋（卷き落し）若湊

▲若湊に對馬洋 は若の二本差を對馬洋手に卷込み押し出して對馬の勝▲黑瀨川に九州山 ガッシリ四つ九州鋭く寄り黑瀨上手投げ打ち勝▲千葉崎に兩國 左四つ千葉右に敵の首を卷き左受けがけ籠れ込んで勝

▲鳳に福柳 双方の氣合盛んなり立上るやバッタリ右四つ鳳例により小手投げ打つを福寄り切りて勝は大喝采

▲大の高に友の浦 は友矢筈に押し飛ばし勝▲敷島に岩木山 敷島の押し出る右を手繰り出し岩木山の勝▲大鳴門に常の花 右四つ常投げを見せ鳴門上手廻しを引き寄せ立て掬ひ投げ打つを常上手投げ打ち返して勝▲朝汐に宮城山 朝一氣に双筈に押し切つて勝▲黑瀨川に栃木山 は左四つ寄り倒して栃木の勝

▲藤の川に大錦 バッタリ左四つ藤鋭く寄り詰め寄り切つて藤の勝は場內總立ちとなりて熱狂し暫しは鳴も止まざりき大錦の負は立ち遲れの爲め。打出し五時四十分

◇二日目の殊勳者＝福柳（右）藤ノ川（左）

春場所星取表

（○勝●負や休×引分▲預）

東方	西方
對馬洋	伊勢ノ濱
入錦	千葉
栃木山	鳳
九州山	朝潮
常の花	錦島
城山	瀨川
福柳	三杉磯
大門岩	黑潮
源氏山	紅葉川
釋迦嶽	大潮
駒泉	大鳴門
御西山	黑瀨川
一湊	若ケ湊
兩國	若湊
大木戶	大の高
綾川	阿蘇ケ嶽
對馬洋	小松山
八甲山	矢筈山
大ノ里	岩木
逆鉾	敷島
宇都宮	土州山
友の浦	鬼鹿
萬星十五	萬星二十

○山口縣人新年會 京城の山口縣人會にては來る十九日（日曜日）午後一時より南山町京城ホテルに於て新年宴會を開催し會費金二圓とし內五十錢を會より支出し列席者は一圓五十錢を持參して可なりと尚ほ餘興として大福引の計畫等ありて定めし列席者多數なるべければ列席希望者は世話人幹事俣賀勉氏（本町三丁目十二番地）へ申込まれたしと

○西本願寺報恩講 若草町西本願寺にては十四日より十六日まで宗祖親鸞聖人の報恩講を執行し右三日間朝晝晩三回の說敎ある由

○廣告訂正 一月十四日夕刊掲載の關中支店とあるは內外興業株式會社京城出張所の誤 付訂正す

○大阪相撲 十四日から [illegible] し手打を行ひ勸進元以下神酒を頂て東西の權衡を失するより三日間延して十四日初日を出すこと一日の豫定なりしところ新西方になり朝日山を除く外は全部初日 [illegible]

大甲糯酒會社より信濃點田商店に行く糯酒三百三十噸を積載し下關埠頭內鄭東局棧橋西側に繫留中 [illegible]

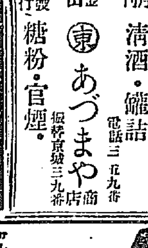
十二日午前入港高麗丸一二等客 [illegible]

十二日午後入港壹岐丸上陸一二等客 [illegible]

一月十三日午前入港新羅丸上陸一二等客 [illegible]

天氣 京城地方 [illegible] 曇 但雪少 京城測候所

長岡商店

釜山 島田糸店 電話五七八


スマート

釜山 あづまや商店 清酒・罐詰 糖粉・官煙

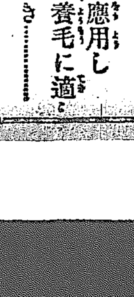
釜山名商店案內
砂糖 麥粉 西貢米 碎米 酒精 燒酎

目ニ見ヘテズンズンキク
シマズ イタマヌ
井上博士ノ ロート目藥
五十錢 廿錢 十錢

八木田博士處方 島田博士試驗濟
アナタの胃病にはマーゲン
強胃消化錠
本劑の特色二標準錠の本 マーゲンは胃病の根本的に治し食慾を盛んにし胃弱を治し胃腸を強壮にす
大阪市東區上本町五丁目 田畑保榮堂

パール 煉香油
パール ポマード
パール 椿香油

毛髮の營養に富み日本に冠たる…… 世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺憾なき現代理想の椿香油なり

大阪 代理店 平尾レート
東京 平尾パール

大阪相撲一月場所七日目……上式は十日正午千日前相撲場に於て行司木村玉之助司祭の下に厳かに執行され續いて三たび太鼓を廻……大……小染川は脈物の爲め明日より……た負傷の爲め何れも兩三日間休場を申出で西方にのみ缺場多く……

◎二つに折れて沈沒

市内入船町村岡三九郎所有の小廻船（百石積）は十一日午前九時頃……二つに折れて沈沒したるが船員及び乘客……損害は約五百四十五圓なり

◎連絡船上陸客

十三日午後入港……（人名略、判読困難）

京城日報主催　氷上滑走大會

會場漢江人道橋下、期日詳細追而發表

◎奉天より　運輸界益々多事

奉天支局　老禿生

滿鮮を通じて大正五六年頃から鐵道輸送貨物が頓に增加し沿線各驛ともに滯貨又滯貨で隨分惱まされたものである、殊に一昨年及び本年にかけては益々滯貨の程度を增して來たが其の內昨年八九月中西伯利出兵に伴なひ軍需貨物の輸送は一時中止の已むなきに至り愈此の趨勢を大ならしめたのである其爲めに當時の滯貨が今尚ほ癒へず滿洲線では早や四十五萬噸の貨物が停滯し殆んど何時歸貨が出來る事やら豫想さへ附かない狀態である、其輸送困難の折、而も特產物の輸送旺盛の頃日になつて又々軍隊輸送が行はれる事となつて來た、實に輸送界の危機とでも云ふべき狀態を招致したのは誠に已むを得ぬ事とは云へ困つた狀態と云はねばならぬ此難關を

◇◇如何に處置するか◇◇

前述の如く既に滯貨しては貨物丈けで四十五萬噸以上、此掃貨期さへ不明である、而して更に廻著する特產物は昨年に比して作物も良好であつたと云ふから一層增大するであらう、勿論近來農家の懷具合ひが豐かだから從來の如く一時にドッと押し寄せると云ふ樣な事もあるまいが

◇◇例の結氷搬出こに◇◇

多大の關係を有せる滿洲の事であるから何時までも搬出せぬ譯にも行かまい、左樣すると、現在でさへ飽滿の就きかねる貨物を眼前に控へながら軍隊輸送をすると云ふ丈け又後廻しになる、處へ又新貨が到著する愈々將來の見當がつかなくなる從つて

◇◇金融業者は是れに◇◇

向つて資金の融通を肯ばない、結局日本人の頭目であり崇の目である知らず此の難關を商人は如何にして切りぬけるか金融業者は如何なる手段を講ぜんとするか滿鐵は如何なる成算を以て是れに臨まんとするか、

日本人の鑛業權

日本人の口から盛んに滿蒙の開發と云ふことを聞くのは久しいが此の滿蒙の開發といふのは何かと問ふこそれは農業もあらう商業もあらう工業もあらう將た亦鑛業もあらうが多くは鑛業が殆んど其の主たるものらしいと思はれる、それも其の筈である、農業に於ては日本人は

◇◇迚も支那人に及ばぬ◇◇

ない、商業に於ても支那人に敵はぬ、從來の商習慣上から押しても矢張り支那人の敵ではあるまい思はれる、然うするこ日本人が滿蒙の開發は工業及び鑛業と先づ相場が極つて來る事となる

支那鐵鑛國有說

然るに支那側では鐵鑛に限らず各種鑛山を日本人に許可する事を避けんとする傾向が甚だしい模樣である、勿論彼の袁世凱時代にも鐵鑛國有說が出た事があるが、爾來例の鑛業條例が出るとか何とか色々の事があつて結局奉天省などでも日人は何處でも鑛業に從事する事が出來ない日人

◇◇若くは日支合辨◇◇

にてする事となつてゐるに拘らず非常に困難を感じてゐる模樣である、單に鑛業のみではないが！現に某會社は鐵鑛敷設の議が確定されて居るにも拘らず發表以前公表された處から發表が十餘日も遲れ且其の交涉が困難になつた事がなく又某會社は某鑛の權利を得るため專ら潛かに運動して居たのが一寸した事から

◇◇交涉が困難に成て◇◇

早一年に垂んとする今日未だ海のものとも山のものとも分別がつき兼ねる有樣である其の他小さい事を擧ぐれば數限りのない話である、要は支那人の利權回復思想から來たものではあらうが日本側から見ると條約を無視した態度若しくは日人排斥と見ねばならぬ事となつて來る

◇◇是では條約も協約◇◇

もあつたものではなく又一方日支親善も滿蒙開發もあつたものではあるまいではないか、況んや日本の常にお先棒となつて高唱してる門戶の開放などは夢にも出來ない事となつては來はせぬか、日本が投資するも支那が投資するも將た又他國が投資するも、支那人に

◇◇經營の能力がない◇◇

現在の處遺憾ながらであるから日本人に許し或は日本人と合辨事業として經營するのは相互の利益であるのは多言を要せない處である要するに此の儘で推移すれば將來滿洲の發展は到底望まれぬと思ふ

◎撫順產業界

◇亞鉛製錬業と電化工業◇

久原鑛業の計畫頓挫したる撫順に於て目下の狀態にては大阪亞鉛鑛業と電氣化學工業とは滿鐵以外の雙璧なり此の兩者は今回世界戰爭の影響を受けて共に社運の隆盛を見たるが今撫順に於ける兩者を比較すれば亞鉛鑛業は目下の處其の原鑛を滿洲に於て需むるを得ざるの有樣なれど撫順電氣化學は資本金五百萬圓揚越恭平氏を社長とせる電氣化學工業株式會社の分工場にして其の製產品は炭化石灰、石灰窒素及び硫酸安母尼亞なるが其の原料たる石灰石は安奉線火連寨より殆んど無限に供給を受くるの便宜を得ると共に工業の動力は滿鐵に於て經營せるモンド瓦斯を利用し既に毎日六千基以上の電力を利用し以上三種の製出に努力しつゝあるも未だ其工場は豫定の竣工を見ず且つ動力を供給すべきモンド瓦斯設備進捗せざる結果其の能力を發揮し得ずと雖も瓦斯の設備完成し工場の竣功を見ば常に九千基の動力を要し年間硫安のみにて一萬噸の產出を見るは難事に非ず至難の事にあらずと聞く其の輸出先は多くは蘭領印度にしてスマトラ瓜哇地方に於ける甘蔗肥料として大部分を仕向け其の他は殆んど言ふに足らず是を目下の相場とすれば優に五百萬圓を突破すべく戰前の最低價格とするも二百三十萬圓の勘定と成るべく戰後價格の下落を見るも同社としては十分に持續し且つ奮鬪をなすの餘力ありといふ加ふるに全鮮各地に於ける農業はこゝ數年來大いに面目を改め金肥需要の傾向大いに增進しつゝありたる時同社の活動は農業者に取りて眞に福音といふべし

◎新聞昔物語（しんぶんむかしものがたり）

今から見れば寧ろ滑稽な程　幼稚な時代があつた……新聞の歷史（二）

對竟樓主人（寄）

◇記事◇

記事は官書、雜報、江湖叢談、論說、報告、物價表等の目を設けて各目毎に一事項乃至數事項を記してある。由つて一日の新聞紙に掲載する所僅に六七項乃至八九項の事項である、其の官書公報とあるは官令等である。人民よりの願屆又は官吏任免の辭令等がある。江湖叢談は今日の所謂投書欄で、雜報とあつて、論說一則は雜報中に多少非常の意味を含んだ事をいひ、報告とは今日の廣告である。當時の新聞には未だ社說もなく、小說の如きものは勿論無く又一般の廣告等にもあまり利用されて居らぬ。

◇記事の內容◇

其の內容を紹介せんに、記事の二三を轉載して讀者に新聞第一百五十五號（明治五年八月十四日）の官書公報に

三井八郎右衛門外七人御賞譽の儀に付神奈川縣より大藏省への伺の寫

一、金千五百兩　頭取元濱町出店　三井八郎右衛門　同南仲通五丁目　小野組三郎後見

一、金千兩　辨天通二丁目　齋藤勘助　本町四丁目　茂木惣兵衛　辨天通二丁目　增田嘉兵衛

一、金千五百兩　但一人　本町四丁目　原善三郎　辨天通二丁目　金子平兵衛

一、金二百五十兩　辨天通二丁目　吉村幸兵衛　同三丁目　田中平八

右者當縣學校ノ儀外國教師月給は定額金の內を以相渡星亨私塾免許狀文部省より相渡有之諸入費は月謝等を以仕拂及不足候節は市費にて取賄公私致混淆居候間更に市學校に致し候樣即今伺省へ遂中に有之然る處書面名前の者儀市學校取建相成候儀に候はば出金致候間右入費の內へ差加相成候樣別紙の通願出に付承屆候に付ては右奇特の段は相額の御賞譽被成下度此段相伺申候以上

壬申八月十二日

とある。是で故星亨氏が曾て橫濱市で私塾を開いて居つた事も明である。又同號の江湖叢談中に

河豚の毒魚なる事は昔より人の知る所なれども世人の嗜好するや己れの慾を制壓する能はず之が爲に其天壽を夭するもの多し夫墮胎及び阿片煙の如きは官既に御嚴禁あり冀くは此毒魚も御嚴禁の令ありたし或は之を嗜むる者あらば其代價を兩收せば可ならん乎蓋政府の御良法もあらん是亦人民保護の一端と謂んか右投書に依て記す

とあるなどは、隨分と振つた記事である。

同じく第一百五十七號の江湖叢談に

上州前橋に乘御なす無宿學豪と言へる者元忍藩へ捕へられ同所破牢の後所々にて强盜相働き尚去る七月廿五日の夜野州安蘇郡山形村農家□□藤八方へ白刃を携へて押し込み蚊帳を切落し同人寢臥せし傍へ白刃を突て金錢を出さすに於ては切殺すべく抔强勢に脅し付け暫時互に捻合しが遂に學豪を取押へ其旨□聽へ訴へしに有名の學豪は强盜なるも民の身として身命を拋ち此の徒に及びし條奇特の御布告を以て……上野州は强盜出沒の地……

春の水……江原道□陽江

來庶民の心得方にも相成る義こて金一圓五十錢御賞典こして賜はりし趣也

こあり。官の事には總て御の字を附け『平民の身こして身命を不顧云々』こいへるなど、官尊民卑の上に階級的觀念の去らぬ當時の有樣が想はれる、それにしても朝鮮現時の社會に對比して如何にも面白く思はれるではないか。斯かる記事は澤山あるが、くだ〳〵しければ之を省き報告の一例を左に示さう

佛國巴理斯出生ギイヤル氏當時東京西ノ久保巴町天德寺內光岳寺ニ寄留セリ自今生徒ヲ集メ教導センコトヲ欲ス有志ノ輩ニ來テ研究シ給フ可シ

但日々二字間教授月謝二圓宛

學課　會話、算術、地學、史學、理學、ナリ

論言一則には左の樣なものがある

寒來暑往時候の交替と海南山北風土の反對には必ず人身に中り疾病を生ず輕きは不日に治すれども重きは不治に到りて命を亡ふ然りと雖も平生の衞生を保護して遠慮の宜き人は不時の外邪に襲はれても忽ち之を免れ遠隔の異鄕に遷つても能く生命を保つもの也此は是譬喩なり抑も今日固陋頑愚の者の口實に昨日は家祿を役祿として安樂に世を渡り亦商法の目的も當りしが御維新以來は廢藩置縣の令ありて歸農なすこも鋤鍬は把れず商をなすこも算盤の術に精しからず貸たる金は違約となり仕入し品は更に捌けず手を出す毎に減じ鳴呼十年前が戀しと愚痴を並べ怨言を唱へ日に痩せ月に衰へて終には窮し餓る、あり是皆所謂舊習を甘んじ不變生に因循して其風土季候の反替に一身の養衞を偽らず生命の要弱に氣の附かぬ者と言ふべし人皆能時勢の交代には豫め開化丸を服し速りに文明湯を用ひ變に應じて保養の良策を運らすべし

之を讀むときは餘り今日の朝鮮の頑固兩班をば笑はれぬ心地がする古い新聞は之を文體、用詞の變遷を知る資料として見る時は更に一層の趣味を覺ゆるのであるが、之が研究は後日に讓り、新聞紙歷史を語る序に、朝鮮に於ける最初の新聞並に其の實物について讀者に紹介しようと思ふ。

◎賑かに越年したる　各地の經濟狀況

◆鎭南浦　舊臘十二月中に於ける鎭南浦經濟狀況を聞くに米及び大豆は月初め結氷期も目前に迫りしかば奧地より到著數增加し頭出精米等の輸出旺盛にして一方阪神の綿絲類出廻り續きたる爲め資金の需要を喚起すること少からず、舊正として結氷□に□しても奧地へ質行き良好にして此面に於ても相當の金の需要を見たり上述の如くなりしを以て當地在米高に換算して月初約一萬七千二十六石、月央約三萬四千九百五十九石月末約四萬二千石位に激增し相場月初め玄米三十三圓五十錢初日の出同六十一錢月央玄米三十三圓四十錢初日の出同六十二錢とあけて玄米三十三圓四十錢初五十五錢と一寸目先弱含みとなりしも大勢依然强調を持續し越年せり

◆江西　平南江西地方に於ける十二月中の金融狀況は未だ陽曆歲末の影響として見る可きもの無く金融は尚小緊の態を持續したるも月央よりして大勢は漸次緊縮に傾き舊歲末とを控ふる爲め……はヂリ高の氣勢を示し越年したり

◆大同　地方は一般經濟狀態頗る良好にして一部漸く勞働生活者以外の者は大抵懷中充實せる爲め當月の如きも納稅期に當りたると及び地稅納入期と舊歲末とを控ふる爲め各種資金の需用相當起りたるも金融界は大繁忙を呈するに至らず加ふるに講和來の爲め一般商工業者緊縮主義を採れる等の爲め金融界は頗る閑散裡に越年せり

……に支拂はるべき工費二百萬圓なり（大連）

◎積雪の爲に　自動車運轉中止

平安南道東隅里より平北道江界間を運轉する安州滿浦鎭間自動車は去る十二月三十日の降雪以來積雪約三尺に達し爲めに運轉不可能に至りたるを以て去る八日より向ふ十四日間の豫定を以て運轉を中止することゝなしたり（平壤）

◎南浦の新問題

◇水道と衝突路◇

鎭南浦有力市民間に於て新年會合當時の問題として鎭南浦及び衝突道路改修と鎭南浦水道の完全を期すべき二問題擡頭し近く市民大會を開催すべしと同時に平壤松井次郎氏の意見として平壤より木管を敷設し其の供給を完うせしむることにあらんも右は多大の經費を要すべければ本問題は容易に成立せざるべし（平壤）

◎歡迎送費（平壤）

平壤府に於ける西伯利出征軍隊歡迎送に要したる費用左の如し

收入	寄附金	[illegible]
	利子	[illegible]
支出	歡迎費	[illegible]
	送費	[illegible]
	雜費	[illegible]
	合計	[illegible]
	差引	[illegible]

◎怖ろしく高い　此頃の米

小賣白米は四十錢を拔く

すれば何でも無い樣であるが此頃の米の高さには實に全國の騷動を起した當時の米價よりも餘程高いか分らない……小賣白米が仁川で一四一錢五厘で之れで平氣で居られようか今年は

◆何故　然なに高いか而も明節は安かるべき新穀出廻り旺盛の時季である是れから先は何を云つても先安であらねばならぬと云つては居るが之れこて調子外れの今年の相場は決して狼りに豫想なんかは出來得るものでない或ひは今秋の收穫時機が迫つて益々增收に間違ひないとの見當が附くまでは此の四十錢近くのお米で暮らさねばならぬかも知れない、之は偉い勢である、生活である大體現今の

◆米高　は內地の相場高に影響されたもので內地の米高は即ち昨秋の減收で本年の端境期迄には在米必ず不足するとの見當から來たものであるとすれば何とか米を作る工面をしない限り先づ安くはならないと見ねばならぬ廻米の遲延とか人爲的の買煽りとか云ふ問題は根本の米價を云爲する材料には餘りに薄弱である然らば吾人は當分の間は四十錢の米を食ふべく餘儀なくされたものと觀念するの必要があるが何と云つても騰れば騰るらの去年の今頃は僅に

◆一升　二十四五錢で食つた米が此の春は四十錢越して居る試みに昨年春の初相場から見て現今の米の價値を觀ると殆んど隔世の感があるとも云ふべき狀態である去年仁川で取引せられた正米の相場は即ち四日の初相場が玄米一石十九圓六十錢から安値は十八圓五十錢七月頃に高値の二十圓にあり之て安値は相變らず十八圓五十錢十二月にヤット二十圓五十錢の相場が出た限りさう高くはならなかつたが今年は地拂玄米が三十二圓五十錢合格米になると三圓高の三十五圓五十錢見當で商內が行はれて居るとは偉い相違があるものだ之では去年の春に小賣白米が二十四五錢で買つたのが本年四十錢五厘を唱ふるのも先づ無理はないと云はねばならぬ（仁川）

◎仁川では新年匆々　籠拔娼妓二人

惡いこと流行りだした　男を踏臺に　前借を倒す芝居

仁川では今迄滅多に無かつた女郎の籠拔けが恰も流行の樣に新春早々三件もあつた而も彼等の意志の一致したことは決して變はしの一夫を誑りでなく何時な眼晃で男を踏臺にして借金を倒して見ようと大膽な芝居を踏んでみた奴さへあるに至つては樓主も中々油斷がならぬ其一人は

◎第二敷島の春子こと十井すみと云ふ女で既に數年のお勤めが續いて餘程借金も減つて居る振りをして居るに拘らず月日の經つのが待ち長くて自由廢業とアラレも無い企みを起した、そして三十一日の午後警察に申出で散々お目玉を食つた揚句は其ま……

◎隱れ家の

旅館が發覺に及んで十圓のお灸を据られたが此妓は運が好いと見ねて躊躇のあつてから間もなく行き掛りの上で殘さうかつて貰つて近く自由の身になりさうだが馬鹿な眞似をしては宜しくない今一人は一力樓の吉崎松江（二）と云ふもあらうに內緣組といふ人力車

◎挽子鮮人の金世根（三十）と夫婦氣取りで去る廿七日無斷に手を取つて富川郡は石串面加在里の金目台と云ふ者の宅に宿泊し都合宜ければ田舍へと云ふ太膽者之れも同じく十圓のお灸

◎又一人は二三樓抱へ一駒こと山根いさ（二七）それが六日の午後四時仁川市內の大和旅館に拔け出て宿泊したとの廉で十圓とは揃ひのお灸である（仁川）

◎劍道寒稽古　仁川署の道場で

仁川警察署の道場では去る七日より三週間の豫定を以て毎日午後三時より市內有志の飛入り稽古を許し劍道寒稽古を開始した例年よりも盛況にて署員以外の來場者も多く常になき盛況に竹刀の音は破れんばかり……署員の熱心は去る許に渡れて居る署員の中に尤たる平井巡査部長があり毎日時間になると波の樣に鎧を提げて道場の眞中に突進し當るべからざる勢ひに劍士の氣を押ふと云ふ熱心さ竹刀の冴は一段と昂つて居る此外其道の達者は中井港務部長、警官があり斯界に名を示して居る之れから仁川の劍道界は益々發展するであらう因に一般官者の劍道は益々來場を希望しつつあり

◎京阪合併相撲　乘込は四月頃

大阪相撲の大鳴門八甲、阿錦山は一月場所打上と共に大鳴門の八甲山一行百二十餘名及び大阪の陣幕平、鉤一行十二千餘名合併の勸進元竹中、小田原氏の許へ照會し來りたるが乘二浦の興行は多分四月中旬ならんと（乘二浦）

◇砂糖に蟻の付かぬ法◇

砂糖を入れた入れ物の上に白墨で、ひゆりと一筋、丸く書き、その中に砂糖の壺をおくと、小さい蟻は容易によりつきません、それで（くくうなさきは、大きな鉢へでも水を盛り、その中に砂糖の壺を入れておきます、或は、盥のやうなものへ載せ、蜜、脚を水の中に立て、おくのもよろしいので

◎讀者文藝（募集）

（題）		（〆切）
◇小品文（何題）	十行以內	十日
▽なぞ	朝鮮とかけて	二十日
▲一口噺	時事に關する	廿五日
▲物は付	『面白いものは』	三十日

◉賞　一等（一人）一圓の書籍券　秀逸（二名）五十錢同上

演藝案內

壽座　黃金町　電話五七八　正月十三日より藝題　第一 笑劇『緣結び』　第二 奇術劇……　第三 奇術……　第四 教訓劇『波』　第五 人情劇『鬼が佛』三場　第六 大魔術　第七 笑劇……

有樂館　……第三『幽靈船』……『二人の名親』六卷……

壽館　人情劇『山の想ひ出』全五卷

黃金館　京山愛三大一座開演

……劇『讀心術』全三卷　劇『想夫憐』全三卷　又平　全二十二卷

浪花館　京城明治町　電話二六〇……

大正館　電話八七三……　武藏坊……新藏　全四卷　『ドーグラス』の奮鬪　五卷　月魄　六卷

文樂座　本町五丁目　電話三三八……

寫眞　……京日寫眞製版部

告　佐賀縣人

本月十六日午後五時ヨリ花月樓ニ於テ佐賀縣人會新年會開催候ニ付御會費金壹圓當日御持參ノコト……出席者ハ來ル十五日迄旭町一丁目島崎龍一方ヘ御通知相成度候

大正八年一月十一日　佐賀鄕友會幹事

支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦

出張所　……

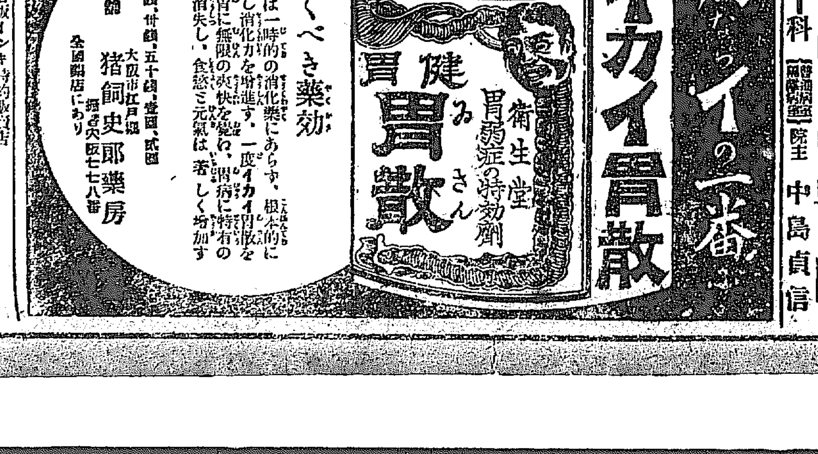
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城　朝鮮銀行　電話六〇一〇番

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店　帝國火災保險株式會社京城代理店　大阪海上火災保險株式會社　つちやたび並ニいろはたび朝鮮代理店

貿易商　雜貨　京城本町三丁目　藤富國太郎商店　電話三〇八番



京城府明治町二丁目（本町江戶川橫より入る）電話三七八番

內科　小兒科　チアテルミー科　入院隨意

中島醫院　院主　中島貞信

男女の生殖器病

發育不完全、包莖、陰萎、早漏、神經衰弱、淋病等は專賣特許眞空療法器で子宮病不姙症こしけ等は專賣特許婦人病治療器で復活す

東京神田カヂ町五　東京眞空療法硏究所　電話神田七二一

新荷到著　青星印　カーバイド

破格値段を以て販賣可仕候間精々御用命願上候

京城南大門通五丁目八番地　沼木村商會　電話長一三六四番

氣象報

……低氣壓……

商況

東京株式特電

十三日後場 引値 十一日との比較

東株 … 新東 … 同船 … 郵船 … 同新 … 鐘紡 … 同新 … 東電 … 日石油 … 帝蠶 … 北海炭 … 滿鐵 … 第一新 … 東拓 …

東京現株中値

十三日正午中値

東株 二〇六、〇〇 同新 一八二、五〇 朝鮮銀行 一六〇、〇〇 同新 … 南滿鐵道 一五三、〇〇 第一新株 一一七、五〇 第二新株 八〇、〇〇 南滿製糖 二四〇、〇〇 朝鮮製粉 … 京城電氣 … 同新 一八〇、〇〇 朝鮮瓦斯 五七、〇〇 同船 二四〇、〇〇 同新 … 郵船 一六五、〇〇 同新 一二三、〇〇 館紡 一九六、〇〇 同新 九七、〇〇 東拓 二五四、〇〇 朝鮮興業 八二、〇〇

東京期米特電

十三日後場 高値 三十八圓 安値 三十七圓八十錢 止め 三十八圓一錢

十四日前場 寄附 當限 三十九圓三十錢 中限 三十八圓四十錢 先限 三十八圓廿五錢

大阪株式特電

十四日後場 宇治川水 … 京阪電鐵 … 東洋紡績 … 同上新株 … 鐘淵紡績 … 合同紡績 … 同上新株 … 東洋製糖 … 大阪商船 … 郵船株 … 同上新株 … 堂島米穀 … 東京株式 … 大阪株式 … 同新株 … 日糖 …

大阪期米特電

十一日後場 寄付 三十七圓六十一錢 高値 三十七圓六十九錢 安値 三十七圓五十九錢 止め 三十七圓五十九錢

十四日前場 寄附 當限 三十八圓六十錢 中限 三十八圓三十錢 先限 三十七圓九十六錢

兵庫期米特電

十二日後場 寄付 三十七圓八十錢 高値 三十八圓〇九錢 安値 三十七圓八十錢 止め 三十八圓〇九錢

下關期米特電

十三日後場 朝鮮産地五十銘柄 説に買頻ふる 寄付 … 高値 … 安値 … 止め …

十四日前場 晴 氣配强氣 寄附 … 高値 … 安値 … 止め …

雜報

●正米小締まる

沿線地方は輸送の困難と値合ひの不採算に依り商談も進むる機會なく仁川市場としては當地に於ける組合の[illegible]に[illegible]の取引を見るべきも昨今の新規廻着は殆ど見るべきものなく少なき方にあらざるも其内地の如き思惑品多ければ實物を買入るゝの附値に歸き來らざれば約の移出注文に迫はれつゝある精米筋は一時手持原料を以つて當座を凌ぎつゝあれども漸く米不足を告げ且つ他所より新規注文入るゝ模樣にて今朝來の模樣…

●二十錢方引締

氣配も各自進取の模樣にて…

●木炭着荷薄

木炭は需要の[illegible]に拘らず後受けたる…荷動き[illegible]…

過ぎて五百俵內外

十二日は…

方の騰貴に

小賣値

●分蜜市況沈靜

京城に於ける分蜜砂糖市況は…

●工業藥品持直

…

●漬物類持合

京城 原料大根豊作なりし爲め最初産地の…

下關粭場

▲大豆は堅… ▲小豆は…

各地商況

○大邱米況 十三日

▲玄米(强合) 天候恢復さ共に出廻り漸く增加し…

釜山物價市場 十四日

▲大豆(小强し) 前報後…

京城正米市場

元來が買人…

錢方昂騰 又復一二十

仁川正米

…

生魚市場

京城日丸市場 …

仁川期米

▲十四日前場(氣務小甘し)

五十五錢二十一 先三十四圓

錢高に寄付

先五十二錢 四十八錢と

押し

市場雜觀

…

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話 二二一、二二一 振替口座京城四〇二一番

株式會社仁川米豆取引所仲買人 上高田仲買店 ●前金御注文は紹介ある不要候 ●營業案內及電信略號報送呈 仁川海岸町三丁目 電信略符ヤ少 振替三八一一 電話長一〇〇 電話長一一九

觀聲高の中限

俵括に軟派對する悲

弗々現れ來る有力筋の

手詰急の傾 向

限に賣繫ぎ兩建先

廉賣が行はれ相俟つて外米解禁

仁川米豆取引所

十四日の三月限

前場 寄付 … 後場 …

北濱たより

昨今の株式界は如何に…

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 猪飼政太郎 營業案內 電話 長一九〇番 自宅六〇二番

▲鍾紡株

鐘紡が今回…

▲久原株

銅價の低落…

毛谷村六助 卅六番角力

一百十四席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

龜井新十郎は大いに憤つて 新『返さぬとあらば刀にかけても受取らずには置かぬ』平『猪口才な事を云はれる、刀にかけて取ると云へば拙者は腕にかけて渡し申さん』…

三井寺までは僅か十八丁でございます、此方は西波平九郎、近江典膳の道場で腕前を現はし、表の看板を取つて門弟に擔がせ、是見よがしに大手を振つて三井寺へ參詣いたし、今石段を下つて來るを…

…

平『待て』と止めたるは拙者の事でござるか 新『如何にも』平『何か御用でござるか』…

▲撫順炭

南滿洲鐵道會社特約店 西村商會 京城永樂町二丁目 長電話三〇〇番 九一〇〇番

一月十五日

(水曜) (舊十二月十四日)

▼四綠● ▲誘惑を避くべきの日なり
▼五黃● 寸進尺退の不利な日なり
▼六白● 反の合はざる事ある日也
▼七赤● 何となく脈味の多き日也
▼八白● 義理を立て損のゆく日也
▼九紫● 大々吉日にして何事によらず思ひ立ちし事を行ふに利あり
▼一白● 華美なる日にて目下より立てらるゝ日、但散財に注意の事
▼二黑● パッの合はぬ事ある日也
▼三碧● 親しみのある懷かしき日なり、恐らく終日愉快なるべし

電話 賣買

京城明治町一丁目 萬年社 電話一八四四番

○新廢物利用

◆石油罐で冷藏函◆ 石油の空罐を求め蓋の方を切りとつて適宜に繩をつけ罐の中に食物を藏れて井戶の中に吊るしおくと冷藏函の代用となります

◆煎じ藥の出し殼◆ 藥の出し殼は…

◆石鹸の屑の利用◆ 使ひ殘つた石鹸の屑はちよつと使ひ途のないものだがあれを細かに切り刻んで熱湯に入れ沸騰させておくと立派な洗濯汁となつて使ふことが出來ます

◆古い五月幟◆ 古い五月幟は大きいだけに使ひ途のないものですが、一晚ほど曹達水のなかに浸し…

◆古狀袋の利用◆ 一日使つた狀袋は外側の紙をはがして外は反古に…

◆マッチの空箱◆ マッチの空箱に糊をつけて十なり二十なり思ふ形に積み重ねて上下左右後を手際よく紙で張り引出には紙撚をつけ內箱は紙でさつと張ると丈夫な簞笥の恰好になります、これにはボタン針楊子絲などのやうなものを入れると重寶です

◆紙として用ひ內側の色紙は子供の千代紙となります或はこれを適宜に綴ぢて小遣帳その他の記し物にしてもよろしいです

牛乳 御用 岡野牧場

京城東四軒町 電話一〇六九番

厳寒來る!

冷へ性の人は ホシ人參製劑を服用せよ

老年の人若くは病者又は体質虚弱の人及び婦人等にて冬季身体冷え苦しむ人は朝夕ホシ人參製劑を服用せよ 常に人參を服用する時は身体温り心地良き体温を保ち血液の循環を良好ならしめ、爲に全身の生理機能を旺盛になし食慾を催進し、血液の增加を著くし精力を盛ならしむ。用ふる事久しきに及べば漸時血液を精淨ならしむるの結果、色を白くし皮膚の光澤を良くし、不老長壽百歲の老翁尙壯年の如くなるべし。

本品の醫治的效能 神經衰弱=ヒステリー=精力減退=貧血=肺病 リウマチス=子宮血の道=神經痛=眩暈=消渴 不良=老衰=陰萎=腎臟炎=等に効あり

藥用人參撰擇上の注意

人參を服用せんとする人の最も注意すべきは眞正純良なる朝鮮人參を得らるにあり、近來諸種の人參製劑簇出せし結果是を服用せんとする人あるも、時に撰擇に迷はせ給ふ程なり。人參中最も信用あるは朝鮮總督府の管下たる開城產のものにして本邦人參とは即ち此地のものを云ひ其効果も交他地方に產するものに比し遙に優越す。ホシ人參製劑は人參研究のオーソリッチーにして朝鮮總督府顧問たる三宅博士が本場開城產の優良品を撰擇し是を本社工場に於て化學的に精製せるものにして各種人參製劑の最も權威なり

種 類	効能は何れも同じ
ホシ人參丸	五十錢 一圓 三圓 五圓
ホシ人參錠	五十錢 一圓 三圓 五圓
ホシ人參末	五十錢 一圓 三圓 五圓
ホシ人參流動エキス	五十錢 一圓 三圓 五圓

△各地藥店及特約店にあり

資本金五百萬圓

星製藥株式會社

東京市京橋區南傳馬町三丁目 電話京一七八五、三〇二〇、四一七番 振替東京二〇五二二番

下山藥學博士 慶松藥學博士證明、朝比奈藥學博士 岩川醫學博士檢定 龍川醫學士、加藤、山田內科醫學士等

試驗の結果=殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず=理想的服治林劑と確定せる最も成績ある發明新藥

淋病 新藥 ツヨール

試驗說明書呈

●膀胱カタル、尿道炎、腎臟炎、前立腺、淋病に偉効を奏す等一般 一百粒入 壹圓 八拾錢 五百粒入 三圓五拾錢 …

製造元 東京日本橋區川瀨石町 ツヨール商會 電話本局三〇七一 振替東京二九七二九

惡性感冒に

ハカリ印のヘブリン丸

を用ふれば直ちに解熱し惡寒を去り全治する事は既に本劑を用ひられたる人々の實驗せらるゝ所なり

本舖 大阪 合資會社 參天堂藥房

定價十錢以上 家庭用五十錢、一圓

京城日報

本紙定價　一箇月金五拾錢　前金一箇年同五圓▲郵稅一箇月金六拾錢
廣告料金　五號活字一行一圓　二號活字二圓
發行兼編輯人　奧田直　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號

京城日報

俗論を排す(六)
自主心なき大勢順應(上)

如上は刻下當面の問題に對する我國民の輕浮なる見解を排斥し、帝國は飽まで帝國を本位とする立脚地に據り、漫りに歐米人の提言に附和雷同すべからざるを說けるものなるが、然るに昨今中央といはず、地方といはず、所謂『大勢順應』『新思想鼓吹』といふ如き名目の下に、極めて不健全にして、且つ危險性を帶ぶるの放論を試み、さらぬだに動搖を來たさんとする國民思想に、一層の混亂を與へつゝあるものは、吾人の實に痛嘆慨に堪へざる所なり。吾人は固より大勢順應を拒否するものにあらず、又新思想鼓吹を絕對に非とするものにあらず。而も自主心なき大勢順應と、輕佻浮薄なる新思想鼓吹は、亡國の端として、斷々乎として之を一掃せんと欲す。何となれば自主心なき大勢順應は、是れ進化論上の順應にあらずして、歷史上の事大主義に外ならざるを以てなり。適切にいへば彼等は大勢に押流されて、自己を失ひたる一種の精神病的患者にして、其の謬妄の言論に耳を傾くるは、聽く者の愚なるに相違なきも、なまじ彼等が學者たり政論家たるの虛名を擁し居るが故に、世間耳食の徒をして『それもさうか』と想はしむるの虞なきにあらず。一例を擧ぐれば東京帝國大學教授にして、中央公論の執筆者たる吉野某の如き、公々然として左の如き言論を公にしたりといへり、曰く、

『之を要するに、人の世界が神の世界に敗たことを意味して居る。道德的意義、眞の人間の人格的威力が、今日ほど鮮かに現はれたことはない。歐西の人心の歸趨する所に從つて共和國と爲り、獨逸も亦然り、今日我等は如何にするかに就いて、大なる迷ひの雲に鎖されて居る云々(大阪公會堂に於ける戰役終熄の道德的意義と題する講演の一節)』

之を一讀するもの、何人か其妄言放論に驚かざるものあらんや。而して此の妄言放論が、吉野某が平素唱道せる所謂民本主義なるものの註釋たるを思はゞ彼が其教室に於て、無垢にして而も新奇を好む青年學生に對し、如何に猛毒を注射しつゝあるか、想像するだに戰慄を禁じ能はざるものあるなり。

露獨兩國に於る革命混亂を以て直ちに共和政體の建設と見たる吉野某の眼が、尋常視覺を失ひ居れるはいふまでもなきことなるも、それよりも露獨兩國に於る過激派はたスパルタカス團の殘逆暴行を以て道德的意義、人格的威力の鮮かなる發現にして、神の世界に入れるものと禮歎するに至りては、同じく言語道斷の沙汰にして、狂人中にも是より危險なる狂人はなかるべし。更に露獨が共和國となりたるに就いて、我等(吉野)は如何にすべきか、迷雲に鎖されつゝありといふに至りては、亂臣賊子の言にして、たとひ狂人の讒言なりとはいへ、斷じて棄て置くべきにあらざるなり。彼が此の惡言暴論が一部同臭味者の間に演ぜられたるものとは云へ、既に公開雜誌に現はれたる以上は、當局は宜しく相當の取締を爲さざるべからざるにも拘らず、今日まで何等其の沙汰なきのみならず、彼れ國賊の徒をして依然として帝國學府の教授たる地位に据はらしめつゝあるは、吾人の最も奇怪に感ずる所なり。

以上は吉野某に就いての一例を擧げたるに過ぎざるも、所謂大勢順應の名の下に於いて、此に類似したる危險なる思想が各處に橫溢し、次第に健全なる民心を侵蝕しつゝあるは、實に寒心すべきの極みにして、吾人は我金甌無缺の國家の前途に對し、轉た憂慮を禁ずる能はず。

書畫の落款と刀銘(二)
片岡鶴泉

予は先年某博士の所藏に係る、佳家外二三の遺品たる、印章數百顆を實見して、其等木石印材の甚だ粗末なるに驚き、且つ彫刻面は半ば磨滅し、又は缺損し居るを尤も外に感じたりしが、再考するに昔竹田の如き大家さへ、明畫數枚一束を知人に送り、僅かに二朱の禮包を得て滿足せし[illegible]もあれば、當時の畫家の貧素清貧を思ひの外にて、其の用ひし印材も、恐く珍石良木たらざりしを推知し得べし、斯る次第なれば、數十年間の押捺に因つて、漸次磨滅缺損しつゝ、印形字體共に變狀を呈したるや疑ひなく、殊に維新以後刊行せられたる落款印譜本の如きも、再版三版となれば、次第に原形を失し居るに拘らず、古書畫の落款と此の印譜本のものと對照して、眞僞を判ずるが如きは、殆んど兒戲に類し、今假りに或る古書畫らしきものへ、押捺しある印判と、現行印譜本の印判と毫髮の差なく、而も同質なるあらんか、反つて新しき僞印と判定せざるを得ず、何となれば、彫刻家は奸商の依頼を受けて、現行印譜本の印形を、手本として僞印を彫刻するが故、彼我符合するは當然なりとす。却說昔の畫家や書家は、自分の名下に捺す印章は多く自ら刻みたるものなれば、假令書體は妙ならずも、或は刀痕精麗ならざる點あるべきも、各々の筆勢は一氣呵成にして、感興鮮かに篆刻亦雅致風韻ありて、他人の遂に模倣し能はざる所とす。論より證據、吾々は頗る拙筆なるも幼時より自己の名を署し來りしを以て、自己流の曲りなりにも、眞摯に爛熟して筆勢奔馳其下手加減は如何なる能書家と雖も、到底企及し難からん是と同一理にて、眞蹟と僞筆の看破は、極めて容易なるものとす、若し此の看破も、初心者に取り聊か困難ならんには、一歩を進めて實物試驗的に、彼の遁捺への懸物を觀られよ、多くは描立ての裝裱する結果、印肉の乾燥し切らぬ中に、水へ潛らす爲め印肉は本來の色合を保ち難く、即ち生印肉を水中に入るゝときは、印肉の表面が剝落して、朱色は淡らぐものなり、又後落款と云ふて無落款の懸物へ、表裝をしてあるまゝで、畫面に落款を入れ印章を捺すときは、絹本なれば勿論のこと、紙本の場合とても、墨や印肉は裏打に染込むもの故、裏面より見ても夫が解らぬ場合は、狹み落款と印章の直下の裏打を剝かして見れば、忽ち露顯し得べく、殊に後落款の時は、畫面の墨質と署名とは、全然相違し居ることは、敢て言說の要なかるべし。

財界の新舊人(三)
久保要藏君(下)
西海生

久保君は外に向つて八方美人主義であるけれど、その內部には極めて強剛な性格を藏せる人である、君の自信力は頑健鐵の如きものあり、その明晰なる頭腦の判斷により、『一度是なりと信じて敢行を期するや、如何なる困難と障碍を突破しても之れを貫かねば止まない』之れ君の第一長所なりとは君を知れるものの所見一致せる所である、然も君の初志貫徹力には驚くべき彈力を有し、必ずしも直往邁進せず、その所見に對して反對意見の出づることあるも、君はその圓滿主義の奧の手を出して、容易に常人の如く正面より駁撃せず、密に迂回し、又は時日の經過による反對論の縮少を俟つて、更に新鋭の氣を鼓舞し進んで行くと云ふ風である。

▲君は俗と號し、その脫俗せる性は玄人の蠍を摩してゐると云ふ評判だ、夙に禪にも凝つてゐると云ふ、大いが、別に實業家通有の女や酒に關する道樂はない、その嗜好は讀書と事務の研究にあり、此の方面には一身の多くを沒入してゐる、君は研究心の旺盛、それは實に特筆に値するものあり、從つて事務に對する裁決の速かにして、呑み込みの早く、常に何等の屈託なき事は君の部下の常に他に語つてゐるのでも知られる、君は又古い着物は惜氣もなく脫ぎ捨てゝ、新しいのを着ようとする人である、諸事少しでもよい事ならば躊躇なく進んで之を行かうとする人である

要するに君の頭腦と着想とは一歩も二歩も時流をぬいて居り、それを實行して行く力を備へてゐる。

▲記者は君の如く評判よき人を多く知らない、荷主の一階級より鐵が君の經營に移つて以來特定運賃廢止鐵行の不平を時折耳にする外、總督府の當局よりは信頼するに足る立派な局長だと云はれてゐる、君を知る官民の多數者は總した出來のよい人だと賞めてゐる更に君の部下よりは有難い局長だと奉られてゐる、それは鮮鐵が滿鐵の手に移つてから、時局の影響は貨客を增加し、船腹を高價のものとしたから、鐵道の收入は日を逐うて好調を加へた、更に使用人の優遇は銀行會社の流行となるから云ふ點に於ても進取的の君は特別手當や二期の賞與を惜まず用してゐるからである。

▲君には出張先や、早朝南大門驛構內の散步などで、驛夫轉轍手などと對等の言葉に談話を交換する餘裕がある、君に言はするとそれは君の一つの樂みであつて、又彼等の言の中には珠玉の如く光る或る物を藏してゐるさうである。記者はそこに君の多數者の主長たる資質父人心收攬に巧な點を見出す譯に行かぬ、平和來後の鮮鐵は世界の公道たる實を愈々あけて行かねばならない、營業政策の更新、新線の敷設、既設線の改良、更に今日の如く京釜京義の半島縱貫線が輸送力に乏しくては、その複少くも京釜間だけでも――若くは新に併行線を必要とする時期が近いかも知れぬ、記者は君の健在を祈るものである。

…は意之が[illegible]なるを知せ[illegible]には得られぬのである無論我國[illegible]如き[illegible]戰捷の[illegible]賀すべきのみを知つて未だ目前這[illegible]

▲非常に苦心する所

[illegible]あり兵馬倥偬殆ど他を顧みるの寸暇なき場合に於てすら尚ほ且つ國[illegible]程度に於て相違こそあれ英佛伊西亞[illegible]米利加[illegible]此の[illegible]して皆相當の苦心を要して[illegible]ることであると謂はねばならぬ吾は[illegible]人或は[illegible]を指目して[illegible]に過敏に過ぐるものであ[illegible]

▲此の問題を提唱す

[illegible]るは斷じて杞人天の墜つるを憂ふるの愚を學ぶものと同一視すべき[illegible]いのである[illegible]現代思潮[illegible]世界的思潮が滔々浸天の勢ひを形成し來るものであると覺悟せなければならぬ吾等は此際に於て[illegible]務なりしことを自覺するに至るで[illegible]あらうと[illegible]於ては必ずや遲々ことが解決の急[illegible]

▲未だ能く這般の[illegible]眞[illegible]を洞破すること能はず從つて[illegible]である[illegible]國一致の努力に俟たねばならぬの[illegible]

肺結核 肋膜炎藥

全國到ル處ニ取次販賣ヲナス當寺家傳ノ肺病肋膜炎專門藥ハ醫藥ト異ナリ[illegible]安全ノ良藥ナルガ故ニ元來救世劑トシテノ家傳ナレバ肺病肺結核ハ如何ニ重病モ十日分用ヒテ若シ快治ノ見込ナキ御方ヘハ代金返戻可仕定ニ付遠慮ナク返金ノ御請求相成度若シ何カノ故障ニテ次著ガ返金ヲ拒ム場合ハ當村役場ヘ御通知アレバ當寺ハ[illegible]事故ノ如何ヲ問ハズ直ニ返金可仕候爰ニ謹告ス　十日分金參圓代金引換ノ外送無料

本家　肥前長崎港口　極樂寺　(振替福岡八〇六番)

自動車

本校卒業生愈々不足校外生と雖も運轉手技師販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送
東京市京橋區　東京自動車學校
大阪市西區市岡町　同大阪講習所

●第七十一回勸業債券本日より賣出

第七十壹回債券賣出

●債券を買て戰後に備へよ!
二千圓くじ二十本
●新春の劈頭に幸運を捉れ!
即賣一通十圓(送料一口十錢)　大藏大臣認許　割拂賣(二回拂)初回四圓あと六圓廿錢及び送料十二錢
◎十通以上郵送料當社持ちします▲今でも豫約致します
(本店日本勸業銀行構內)
福岡市博多下呉服町　株式會社勸業債券月報社　福岡支店
電話一五四五番振替福岡九五五〇番

消防 喞筒操法全書
消防虎の巻

消防新聞編輯局編纂　最新刊　四六判上製二百六十餘頁　定價金八拾錢　郵稅六錢

如何に文明的の消防器具を設備する市町村にても、之を活用する消防員なければ何の役にもならず、又如何に消防員の名簿ある屑書を有するも、喞筒の操法消防器具の使用法を知らざれば何の役にも立たざる也。本書は蒸汽喞筒、自動喞筒、腕用喞筒の操法消防器具の使用法並に取扱法より消防器具の保存手入法、附屬品等の說明に就て其規範を記述したるもの也。又は各喞筒運動法、火災保險法[illegible]を附す。一部九錢。

消防新聞　大正五年創刊　月二回(一日十五日)發行　新年號には岡警視總監、川村警保局長、緒方消防部長等の名論卓說を滿載す。見本二錢切手封入照會呈
發行所　東京芝區愛宕町一丁目　振替東京三三五八六番　消防新聞社
賣捌　東京堂　誠文堂

日蓮聖人

碧瑠璃園著　(最新刊)
◎四六版九〇〇頁、ポイント型新活字
◎鮮明印刷總クロス上製美裝函入

序文
大僧正　本多日生閣下
海軍中將　佐藤鐵太郎閣下
日蓮上幹　能仁事一閣下

南無妙法會式櫻の咲きにけり……實にや萬燈翳して扇太鼓の高鳴る熱狂、其潑剌たる法華の大精神は千古不滅、聖者六十年の生涯を物語る史傳の各頁は眞乎血叫雲の記錄となすべし、流謫の孤島にありても聖者は怡然として宣ひぬ『日本國に於て第一に富める者はわれ日蓮なるべし』と、此歡喜、此歡喜に溢れたる生活は近代人の胸奧の切に欲求する所、傳記小說の大家此に畢生の努力を效して祖師樣の一生を描く情現双絕!!

口繪　開教聖跡　聖人御影及眞蹟(原色版)
定價貳圓八十錢　郵稅六拾

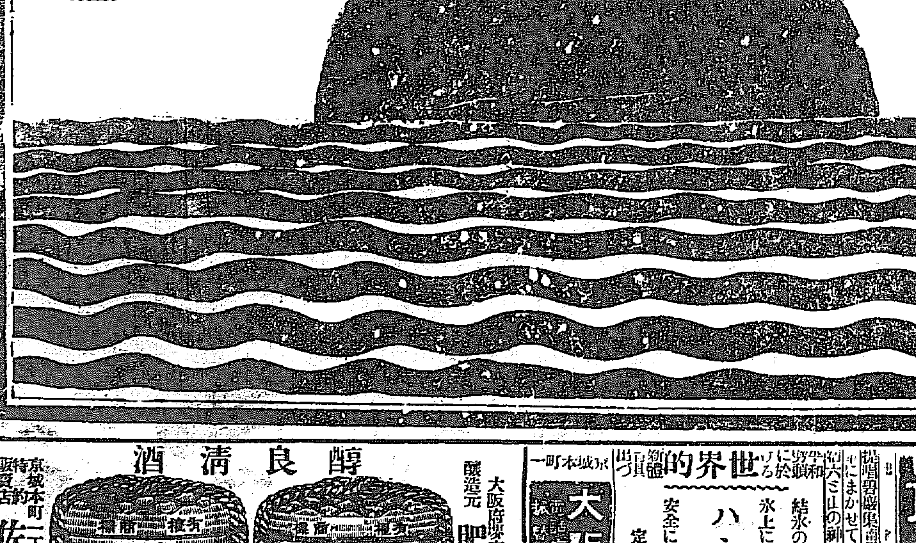
東京京橋區桶町　大阪南區三休橋　株式會社大鐙閣　振替東京三三六一八　大阪二七一五五

官衙會社御用品の眞價は既に社會に定評あり而も名稱を冒したる類似品多し本品の眞物には Swan の英字刻印押捺せり

到る所の文具店に有り目下品切の時は最寄販賣店に御用命を請ふ　總代理店　大阪東區平野町一丁目スワン大阪出張所

花王石鹸

初日の出
四海に輝き……
瑞鶴平和を壽く
品質本位
花王石鹸
皮膚に生彩を添へて
名聲天下に遍し……



花王石鹸製造元　東京馬喰町長瀨商會
鶴香水肆東代理店
鶴香水日本輸入元
花王石鹸関西代理店　大阪安土町大崎組商會

醇良清酒

大阪府堺市　釀造元　肥塚源次郎
京城本町一丁目　特約販賣店　佐藤牧次郎　電話二九番

平和の勝利に於ける世界的新記錄出づ
結氷のシーズン
氷上に街上に最も滑走の妙を得
ハンドサイクル
安全にして輕快壯捷なり
定價五圓　送料要實費
京城本町一丁目　大阪屋號

最新刊
提唱碧巖集　南天棒　三、五〇　一八
生にまかせて　一、六〇　一二
六さ山の神　一、二〇　六

◇二個の重大問題

愼重審議さる可き二個の重大問題は露國過激派に對する處分案及び獨逸國民の救濟に必要なる封鎖の部分的撤去に關する問題なり聯合國は露國に對し軍隊を增加する意無きも既に各地を占領し居れば此地方人に對しては機宜の手段を講ず可き義務あり（巴里電報）

◇聯合國最高代表者會議

聯合國最高代表者會議は月曜日開會し講和本會議組織方法に關する會議を繼續せり（巴里電報）

◇珍田特使巴里著

講和會議列席の爲め珍田駐英大使、落合駐蘭公使は十一日倫敦發同日巴里著同國大使館に入れる旨北京筋に電報ありたるが當分大使館滯在の豫定なりと（東京特電）

◇牧野特使の消息

米國勞働同盟首領と同船

紐育特派員電＝牧野男一行は大西洋上愉快なる航海を爲しつゝあるが男の乘船カルマニヤ號には米國勞働同盟首領ゴンパース氏も同船し佛國に向ひつゝあり同氏は巴里にて大統領ウイルソン氏を援助す可しと聲明せり（東京特電）

◇一億弗支出勸告

米大統領自國議會に打電

米國大統領ウイルソン氏は米國議會に電報して歐洲の食糧缺乏を救濟する爲め一億弗を支出せん事を勸告したり（華盛頓電報）

◇米禁輸續々撤廢

米國戰時通商局は續々命令を發し幾多物品の輸出制限を撤廢し居れり通は迅速に平時通商關係を恢復し食糧供給を增加せん爲めなりと傳へらる（華盛頓電報）

◇米軍露國撤退要求

カリフオルニヤ州前知事ジョンソン氏は露國より米國軍隊を撤退せん事を要求せる決議案を元老院に提出せり（華盛頓電報）

◇對獨逸封鎖緩和

獨逸に對する封鎖は緩和され米國は中歐諸國に食糧を輸送し居れり又佛國は獨逸よりコークスの輸入を開始せり斯くて聯合國と中歐諸國との貿易關係は間も無く戰前通りに復す可し但し聯合國の工業中獨逸と競爭上保護す可きものは此限りに非ず（巴里電報）

◇ス團首領捕はる

スパルタカス團首領リーブクネヒトは捕虜となりたりと（桑港電報）

◇エ政府ス團威嚇

伯林來電＝エベルト政府は土曜日（十一日）スパルタカス團に無條件降服を爲さゞれば砲兵を用ひて彼等を鏖殺す可きを通告せり（アムステルダム電報）

◇兩派休戰條約成立

反政府の勢威頓に衰ふ

伯林來電＝十日伯林各所に小戰鬪ありしも勞働者中スパルタカス團に加擔せるものは戰鬪に厭き各自の職業に復歸せるより反政府の勢威頓に衰へ同日夕兩黨首腦者間に休戰條約成立せり政府側の發表に依れば過激派は遂に瓦解せる如くなるも休戰條件は兩派對等のものなれば過激派の屈伏と見るは早計ならんか尚ほ聯合側將校宿泊のホテルに彈丸落下せり（東京特電）

◇在獨邦人歸還

伯林來電＝獨逸國内に在りし日本臣民八十三名は九日丁抹コッペンハーゲンに着す内八名は常陸丸に在りしものにて近く歸國の途に就く由今井少佐帶旅中なり（東京特電）

聯合の凱旋門建設　歡迎準備

……は明燈々たる電燈裝飾を爲し各縣及び各都市の代表者其他大歡迎……

◎在加邦人福音

土地所有權延長

……たる結果は邦人に頗る好都合と云ふべく……

神戶期米特電

十四日　寄付　三七、九六　高値　三七、八六　安値　三八、〇六　引け　三八、〇〇

東京期米特電

十四日後場　寄付　……　高値　……　安値　……　三十九圓五十錢……

三錢引先三十四圓五十錢と五、高三錢十錢五錢一錢平均他十三錢四に寄付四十一錢と三り跡五十一錢を高値に小市を採み合ひ結局四十大錢と打止めたるか五十錢台は何にしても頗く……

▲先限一節三十四圓五十錢四十九錢八錢七錢六錢五錢四錢三錢二錢……

仁川米豆取引所

十四日の二月限……

◇南北和平會議開催

南北和平會議は愈々本月末上海にて開催の運びに至る可しと（東京特電）

◇我軍過激派擊退

マザノワ守備隊奮戰敵損害多數

陸軍省公表＝第十二師團アレキセフスク守備隊長は十日セレンジャ河上流地方の金礦にて露國警察官が過激派數名を捕縛しマザノワに護送したるに同地附近の過激派蜂起し警察官を包圍し電線を切斷せりとの報に接し一部隊をマザノワに派遣せり然るに到著に先だち同日我マザノワ守備隊は過激派兵一二三百の襲擊を受けたるが奮戰之を擊退す此際我負傷者重傷四名輕傷八名を出す敵の損害不明なるも目擊し得たるものゝみにても數十名を下らざる模樣なり（東京特電）

◇憲法記念祝典計畫

鄭重莊嚴なる方法にて擧行

來る二月十一日紀元節當日を以て青山なる憲法記念館に擧行さる可き憲法發布三十年記念祝賀會に就ては貴衆兩院準備委員會に於て協議中の處愈々具體的に進捗せるに就き德川大岡兩議長は十三日原首相と會見し祝典計畫の内容に就き交渉熟議せるが最も鄭重莊嚴なる方法にて擧行する計畫にて十四日の閣議に附議されたり（東京特電）

◇五千圓御下賜

昨年十一月南洋マーシャル群島は暴風海嘯の爲め被害尠からざる趣き天聽に達し御救恤の爲め　兩陛下より五千圓下賜の御沙汰ありたり（東京特電）

◇講和委員辭令

十四日午前左記の通り西園寺侯以下四氏に對し講和全權委員の辭令ありたり（東京特電）

正二位大勲位侯爵　西園寺公望
特命全權大使正三位勲一等男爵　牧野伸顯
特命全權大使正四位勲一等　珍田捨巳
特命全權大使正四位勲一等　松井慶四郎
特命全權大使從三位勲一等　伊集院彥吉
講和全權委員被仰付（各通）

◇總督釜山通過

長谷川總督は十四日午後九時着釜直ちに同夜發高麗丸にて東上の途に就けり（釜山特電）

◇田中伯告白書公表

斷じて辭職せずと言明す

田中光顯伯も辭表提出等の說あり囂々紛々たるが伯は十四日左の告白書を公にし併せて此際斷じて辭職せずと言明せり（東京特電）

臨時帝室編修局總裁伯爵　田中光顯

余は曩に宮內大臣を辭するの日先帝に對し誓ひを奉じ一言を重んじて本職に就きたり讒人伊藤桂二公の所に故入となりしも幸ひに西園寺公の在るあり余は心事に於て毫も疚しからず故に安んじて本職に從事せんとす余は今更世論に對し輕々しく職責を免れんとするものに非ず若し右の如き卑怯の行爲あらば大いに風教を害し武士道に背くものとして之を排斥せんとするもの有り余は君國の爲に孤城を死守せんとす余は四面楚歌の聲に驚愕狼狽するものに非ず余の知己は多く余の辭職を否認して抑止せり不幸にして天下に一人の知己無きに至らば北を碎かんのみ何をか憂へ何をか懼れんや右以上の事は咽喉病の爲め饒舌する能はず諒ふ恕せよ

大正八年一月十四日

◇田中渡邊兩氏任命當時の事情

田中、渡邊兩氏任命當時の事情に就き某消息通の談を聞くに田中伯は當時の渡邊氏宮相事件暴露したる以後は當時田間より疑惑を蒙り自ら前官を辭退せるも實際に於て伯は何等疚しきところ無きより事情を知る者は却って伯に同情し何時か寃を雪ぐの機會を與へんと俟ちしが土方伯は晩年臨時帝室編修局總裁を辭職せんとの意あり而して土方伯は田中伯と舊交の關係もあり伯に同情せる一人なりしかば逝去前波多野宮相に對し余の亡き後は是非とも田中伯を後任に推薦され度き旨懇々依賴して逝けるが宮相は之に賛否の意見を表明せず他の元老に諮り山縣公の意見を問へるに公は余の意見に任す可しとの事にて結局田中伯を起用する事となれるが伯は余が起用に就ては是非とも渡邊氏を元通に任命起用あり度く兩人共後の明治帝に對する御奉公を爲さんと宮相に干渉せるが遂に宮相も田中伯の熱心に動かされ終に兩氏を起用するに至りしが果然兩氏は同時に任命されたる次第なりしが其後渡邊氏は伯爵男爵反對を唱へ漸く輿論八釜しく遂に渡邊氏辭職するに至りたるものなるも後任適任者無きに苦めりと傳へらる（東京特電）

◎普通學校增設

鮮人初等教育の進步改善

弓削總督府學務課長談

朝鮮に於ける普通學校は從來毎年二十校を增加せしむる計畫にて之を實行し來りしが朝鮮人民度の向上知識の要求は時勢の進運と共に益々顯著なるものあり

▲朝鮮人初等教育機關の增加は刻下の急務となれるに鑑み總督府當局に於ては今後は每年五十校を增加し八年後には四百校の增加を圖らんとする計畫なるが其の經費は國庫の支辨に俟たずして普通學校費用令に依り支出する事となれり尚ほ弓削總督府學務課長は朝鮮人初等教育の狀況に就きて曰く明治二十八年舊韓國政

▲初等教育の端緒　府は始めて小學校令を發布し開きたるも其令は大體に於て日本の小學校令に則り其の形式に於ては完備せるが如しと雖も固より當時の民俗に適せず各道に設立せられたる官公立數十の小學校は其の內容依然として舊來の書堂或は私立學校と相距ること遠からざるの狀況にありたれば從來の書堂は▲舊式の漢文素讀教授を爲すに止り日常必須の知識を授くる所にあらず又私立學校は稍新しきものにして當時に於ける教育は頗る不十分なるものにあらざるも概ね其基礎不確實にして教員其人を得たるもの多からず此を以て明治三十九年の學制改革に際しては初等普通教育の改善を以て焦眉の急務と爲し先づ模範的教育を施し一般教育の風潮を

▲改善するの趣旨に依り同年八月新に普通學校令及び同施行規則を發布し同年先づ京城及び各觀察道所在地に普通學校一校宛を設立し爾來年々增設して明治四十三年新政實施當時公立普通學校一百校を算したり朝鮮の進步に就き施設すべき事業極めて多しと雖も教育機關の特に健實なる初等普通教育機關の普及を圖るべくして最も急務とす依つて

▲總督府に於ても始政以來公立普通學校の新設擴張に努め現今に於ては四百六十二校に達するに至り入學志願者の狀況を觀るに創設の當初は新教育の必要を感ぜず又趣旨の諒解に依り就學者を得る事容易ならざりしも今日に至りては著しく自覺的就學を希望する者の多きを加ふるに至れり地方に依りては募集定員に達せざる所も尠からざるも

▲本年四月に於ける募集定數二萬七千に對し志願者三萬八百餘の多數を示せり是れ固より……にして退學するもの少からず是等に鑑み授業料を徵收せず且つ教科書を貸與し或は學校に於て勞働に依り學資の一部分を補給せしむる等就學に便宜を與へ居れり又

▲體育德育に對しては特に留意し國民たるの精神を涵養し……就いては特に意を用ひ而して等の諸點に於て既に相當の成績を收めつゝあり就中國語の使用に至りては內外其例を見ざるの成功なり以上は其の主要なる教化の狀況に過ぎざるが元來教育の效果は他の行政の如く直ちに之が結果を察知することは能はず相當の年月を閱して始めて諸般の事項に影響する所あるべきなり

て大正八年度より更に普通學校增設の第二期計畫として毎年五十校を增設する事となれる次第なり如此普通學校の增設を計ると共に其の內容の充實を期し一層私立學校に對しても初等普通教育を施す學校に對しては指導して其の教育の改善を計りたる爲之れが教育の

▲面目亦大に改まり將來國民教育の普及上貢獻する所砂からざるものあるべし在來の教育機關たる書堂は總て漢文の素讀を教授するに止り日常必須の知識能力を養ふものにあらざりしも之れ亦近時時勢の必要に促され國語算術等の學科を加ふるもの生じたり總督府に於ても曩に書堂規則を定め漸次之が指導を行ひ國民教育機關の補助たらしめんとせり近來

▲鮮人の生活狀態は著しく改善せられたりと雖も學校教育を受くる資力ある者も亦極めて多し之れが爲め一層就學する……

年頭に立ちて（九）

▼列强の經濟的競爭時代に入る（中）

朝鮮銀行理事　片山繁雄氏談

英國戰後の貿易政策は前述の如く實利主義によりて進むであらうが更に

▲戰時中　國家の手で管理し來つた物資は今後どうするか、思ふにこれも解放して人民の自由競爭に委せず依然國家の管理を續けるであらう、假へば之れを農業に見るも從來英國はパンの原料として必要な小麥を耕作すると云ふ事は度外してゐたが、戰時中大いにその耕作の必要を感じて來て出來る限り小麥を作らす事を獎勵した、又草生地には鋤を入れて大麥やポテトの作を大いに獎めた、その結果英國政府の公表に見るに戰時中に於て農產物の增產を來したのは列强中獨り英國のみと云つてゐる乃ちその進步狀態を知る事が出來る素より將來も增加した農產を繼續せしむると云ふ主旨から

▲農民保護を主眼とする農業政策を把持するであらう、さう云つても輸入食料品に課稅などはせぬ然し戰時中に執り來つた施設は繼續する事と信ずる、鐵それから石炭さう云つた國家的物資に就ても從來の如く放任せず國家の管理を續くるに相違ないと予は信じてゐる、平和の時代になつて經濟上の施設を自然の競爭に一任する事は利害が之れに伴なふのである乃ち或者は利益を得やう、然し或者は打擊を蒙つて十分に基礎を築く事が出來ないと云ふ事になる、その競爭の主な弊害は物資を生產費以下にダンピング（投賣）する事である、從つてその事業の土臺がゆるいで來る、それではいけぬ、結局國家が十分に面倒を見ると云ふ事によるのが

▲戰後の經濟戰に對しても良策であると云ふのに英國政府の意向は傾いてゐるやうだ、その他勞働問題にしても所謂資**本家と勞働者を結びつけ共通の利益を圖る事が必要である、**それに今日は賃金も高いしするが自然の儘に放置して置けば職業賃金も墮落して勞働者の生計は立ち徃かぬる事となる、そこに不穩を醸生する、勞賃金を相當程度以下に低くさせぬやう國家として何等か措置を講ずる以上は勞働者の保護と云ふ方面から見たのであるが

▲勞働者の保護を極端にする事となれば、資本家の利益を非常に殺ぐ事となる、それでは政府の政策遂行上少からぬ不利を來すから、資本家勞働者の調和を圖ると云ふ事に骨を折るやうに見ゆる、それから英國では戰爭の末期に於て殊に本國と植民地との關係に於ける關係を各方面とも大いに密接にして來た、乃ち打つて一團とする大英帝國の組織——その決心が極めて强いやうである、本國と植民地との連鎖密接となり來ればそれが貿易關係に現はれて來るのは當然である

▲列强皆然り　右は英國の戰後經營策に就て予の知れる梗概を述べたのであるが、單り英國のみならず佛國も米國も伊太利も、何れ劣らず戰後經營策を大いに講究し實行しつゝあるのである、然らば帝國には如何なる戰後の對策があるか列强と角逐して劣らぬ丈けの用意を整へてゐるのであるか

◇駐日米商務官

ゼームス、エー、ラビット氏は今回在東京米國大使館附き商務官に任命されたり（東京特電）

◇秋月氏出發期

流行性感冒に罹り出帆延期せる秋月左都夫氏は二十八日午前十一時神戶解纜の日本郵船三島丸にて渡歐す可しと（東京電報）

◇敍位

十四日左の通り辭令ありたり（東京電報）

京城工業專門學校教授從五位勲六等　水野武一郎
敍正五位（特旨）

◎御使東上期

三殿下御使及び御親戚貴族總代の一行は來る十九日朝京城出發東上すべく國分次官、田中課長の一行は出發期尙確定せざるも御使よりは早目に出發する事となるべく多分十七日頃ならんかと云ふ尙貴族總代中男爵李載崑氏を追加する旨十四日附を以て發表せられたり

◎頭本氏の講演

十五日午後四時半より六時頃まで入城中のジャパンタイムス社長頭本元貞氏は銀行集會所に於て西伯利視察の講演をなす由

人事消息

▲佐藤潤象氏（朝鮮輕鐵株式會社取締役）十四夜入城朝鮮ホテルへ
▲林繁太郎氏（下淺柳、倉組社員）同上
▲松原俊雄氏（東京、藥業）同上
▲澤永彥四郎氏（釜山商業事務官）同上
▲保田治義氏　十四日入城京城館へ
▲有馬總督府官　有馬英二氏は尊父の訃報に接し十四日夜發東上す
▲鐵保ノ助氏（水原農林學校教授）同上

◇鳥瞰錄

▲前獨帝を何うするかと云ふ問題が歐米では何時も識者間の話題に上つて居る事は先刻も鳥瞰錄で紹介して置いたが近著の新聞にこれが頗る妙案だと云つて載せて居るのを見ると却々振るつて居る▲カイゼルを死刑に處するとか或は英國に連れて行つて流刑に處すると云ふのも甚だ穩當でない何處か適當の所を擇んで居住させ一生社會から指彈させるのが最も適當な刑罰だ▲つまり默殺しに仕樣と云ふのだが其の樣な事でカイゼルが參くだらうか▲これは默殺ではないが米國官憲の壓迫と輿論の攻擊を受けて終に死んだモルモン宗の管長がある▲名をジョセフ、イー、スミスと云つて米國ユタ州を根據とするモルモン本山の管長で小國王の樣な權勢を有して居た▲彼の遺產も隨分莫大であるが遺族も大分ある數へて見ると女房が六人中の五人、子供が四十三人、孫が九十一人で子孫長者だ▲彼の艶福を羨み死を惜む同宗派の人が日本にも絕對に無いとは云へまい▲京城郵便局長は歲末年初日の廻る程いそがしかつたがヤット少々閑になつたので山登の元氣を發揮した▲其處で局長服部江南君が戲れ和して曰く『春作秋月意の一詩を賦してお得意閒遊、況又新年電信擾紛忙如織、郵書亦是九成丘、捷報千戶、欲腕投舊傳四隣、八百兒餘勇溢、踏氷鐵試山兎』

店員募集
年齡十七八歲ヨリ二十二三才マデノ內地人數名
京城黃金町二丁目　三巴京城支店　電話三八〇番　七五三番

京都產　金銀諸箔鈴
黃銅鈴。齒科用金箔　無地金屛風。押紙
右各種製造販賣
京都市柳馬場町御池南入　堀至善堂　電話上一五五九番　振替大阪六四四番
大阪市西區西長堀南通四丁目　大阪支店　電話西八八七番

京城古市町電話一七四六
瓶類　畑兄弟硝子工場　主畑六一
弊工場特製人造エキス瓶……に限る其他一般の御注文に可應候

京日案內
一回前金　……
……

寫眞技師及助手至急入用　見習生十二才以上
龍山驛前　獨立軒寫眞舘

日鮮人社員並支局長　月給其他面談　履歷書持參來談
京城吉野町一の二七　魁新聞支社

有給社員募集
月手當三十圓以上支給　希望者は履歷書携帶來談あれ
京城黃金町一丁目　明治公債　朝鮮部

貸家
大和町一ノ一七　間數四オンドル付　家賃十三圓
南山町三ノ二九　幼稚園上　二間家賃七圓五十錢
永樂町二　十友會社　電六三六

醬油釀造所讓渡
相當利益ある老舖店舖家屋其他一式讓渡す投資額約一萬圓以上の希望の者は……

○看護婦募集
採用本人履歷書携帶來談あれ
明治町一丁目　小兒科　贊化病院

機械係入用
經驗あり工場監督として熱心なるもの
明治町一丁目

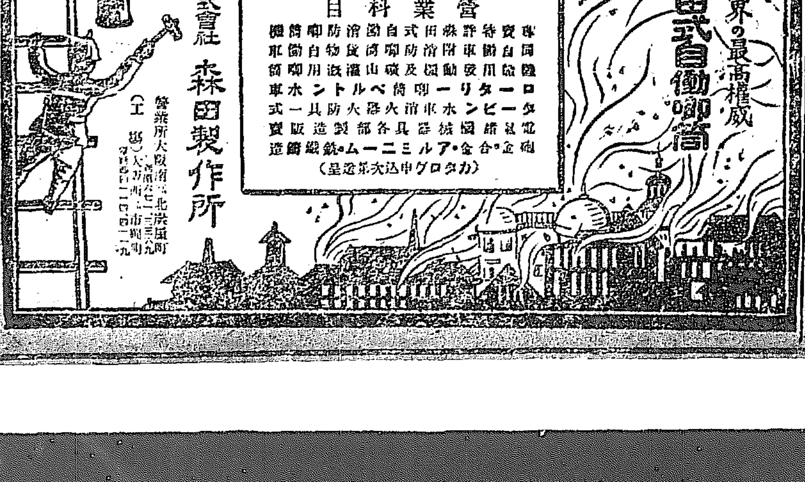
事務員招聘
多く外交に巧なる者　京城府元町……

ゴム玩具　十一月二十日より三十日迄
定價表無料郵送
京城太平通二　太陽ゴム商會　電話二〇六

毛皮なめし仕立
鳥獸毛皮類……
京城本町二……

◎ほねつぎ
一切の治療御依賴に應ず
明治町　柔術道場

藏働人至急入用　製名
京城元町四丁目　三巴酒造株式會社



本邦創始　養鷄講義錄
タダデ鷄の說明書本を差上げますからハガキで至急御申込み下さい
一坪地ニ雌十雌年收百圓を得
東京日比谷　大日本養鷄普及會

凍らぬ!!消火器はこれ
ピコー印粉劑消火器
定價金貳圓五拾錢　送料實費
京城　熊平支店
電話長六二四番　三二五番　振替口座京城一二一二番

機械電氣建築土木科
中央工學校
機械電氣及建築土木高等科　三月八日新期始業　十月にも始業の組有　規則書送る
校外教科書　全部無代給與
女子製圖科　六個月卒業　無試驗入學
東京神田區中猿樂町五

華新　製繩機
販路擴張の爲　特約店割引特價提供　取引店は他店より二割安　營業案內急送
大阪大正橋西詰　帝國商社

名義書換停止公告
當行定款第二十四條ニ依リ來ル一月二十一日ヨリ通常株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止候也
大正八年一月十五日
朝鮮銀行

學生募集
日本蠶業學校
一ヶ年卒業　三月始業
甲種程度、速成教育、卒業者は蠶業教師、製造家管理者技手取締吏員
校則と案內　送料二錢
長野縣更科郡　日本蠶業學校

◎李王世子殿下より 御愛馬を拜領

『僕の生涯の續く限りは屹度愛撫する』と 權藤事務官の包み切れぬ喜び

王世子殿下の御愛馬 馬上なるは夫を戴いた權藤事務官

李王職の經營課長權藤事務官は今度王世子殿下から御愛馬『新森』號を拜領した此馬は大正四年殿下がまだ陸軍中央幼年學校に御在學中

▽御買上げ になつたので夫迄は同校の愛馬だつたのである、以來淀津、長濱、富士の裾野をはじめ其の他各地の機動演習にお伴をし本秋關東小野に於て擧行された特別大演習にもお伴をして居る、本年十三歳栗毛の純洋種で産地は英國である、丈五尺體量百五十貫二百目、特長は額から鼻先に亘る流星三白と云つて

▽兩の前肢 と左の後肢の先が白いところである、馬としては餘り大きい云ふ方ではないが非常に好く整つた體格で内地でも是程の駿足は稀らしいと云ふことである、從つて王世子殿下の御寵愛頗る深かつたのであるが殿下には今度新に非常な名馬を御手に入れられ此『新森』號は自然御剩馬となつたので種々

▽御詮議の 結果僕て李王職切つての愛馬家として人も許し吾も許して居る權藤事務官へ賜ふ事になつたのである、此有難い御沙汰があつたのは舊臘十二月、下關までは王世子邸の別當が附添つて輸送し同地で李王職厩舍の三崎氏が受け取つて同月廿三日の晩京城に到着したのである、權藤事務官は流石に包み切れぬ喜びを湛へながら『全く思ひ懸けないことで家門の

▽光榮是に 過ぎるものはない、僕の生涯の續く限りは屹度手綱にかけて愛撫し殿下の御高恩に酬い奉る覺悟です、十二月中は旅途の疲勞を癒やす爲専ら靜養させ正月からズツト乘つて居るが大變好いですよ、乘心地は：：……』又輸送の任に膺つた三崎氏は曰く『海上が時化たので一時は非常に弱つたようでした然し大分

▽温順な馬 で汽車に乘せての積み卸は私一人で遣りましたが此方の思ふ通りになるので嬉しち骨は折れませんでした、當分李王職厩舍で預かる筈です』云々、尚王世子殿下が今度新に御買上げになつたと云ふ馬は陸軍々馬補充部長吉田中將の飼養して居たもので青に聞く池月、磨墨も斯くやと思ふ許りの名馬だと云ふ

◎御使御詮衡の次第

李王職某當局の談

十四日夕刊所載の如く李王職長官閔丙奭子は李王殿下御使同贊侍尹德榮子は同妃殿下御使同贊侍趙民熙子は李太王殿下御使として夫々王世子殿下の御婚儀に

▲參列すべく 同時に國分次官、田中庶務課長、田中(德太郎)贊侍の三氏も東上參列する事となりしが右につき李王職某當局は曰く『本來ならば李王同妃兩殿下が御參列遊ばさるべきであるが御健康其他の御都合で是は御見合せになつた其處で閔長官尹贊侍の二人を御使として御派遣になり同時に德壽宮からも趙贊侍を御使として御派遣になる事になつたのである李太王殿下の御使としては最初

▲李載覺侯を 御物色になつた同侯は莊宗大王の玄孫で御親戚中最も御近く名門中の名門であるから御使としては誠に申分ないのであるが折惡く病氣で御辭すら事の出來なかつたのは遺憾である同侯も是を非常に殘念がつて居る一時李王殿下の御名代として李堈公殿下が東上されるやうな噂も世間にはあつたが今度は御名代と云ふものはない尚三殿下の御使は無論御式場に參列する筈である』

◎獨商會續々廢業

屈辱的講和を氣にして

横濱山下町イリス商會は在邦外商の巨擘なるが漢堡アメリカン汽船會社の東洋代理店を兼ね本店を伯林に置き戰前盛大に機械並に藥種雜貨の

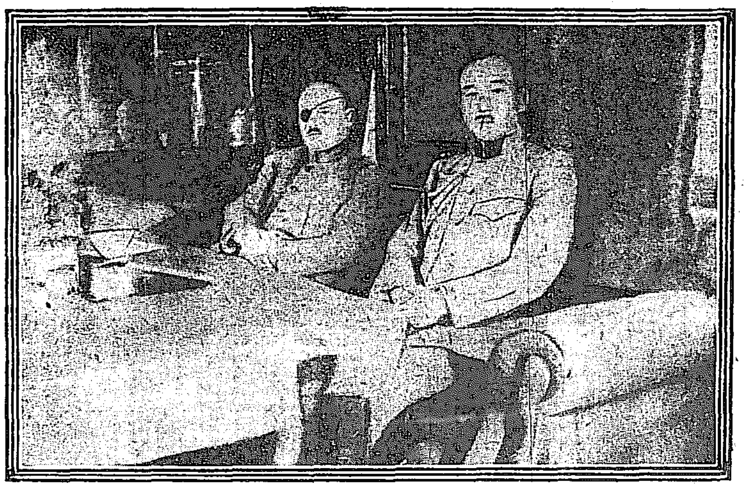
◇輸出入を 營み居りしも開戰後對敵取引禁止令を實施されて閉鎖し居たるが休戰條約成立し自國の勢威を誇るべき機會なきを悲觀し同商會の代表者ラドルワホール氏は商館前に巍然たる石造の同商會建物並に敷地を四十萬圓に評價し讓り渡す事となり之と同時に同町百九十八

◇茶絲銅鐵 の輸出入商を營み戰後イリスと同じ運命に陷り剩へ代表委員以下五名の獨人は不法の行動ありて上海に追放されたるオツトライメス商會も最早賣物となり居れり右に就き某消息通は語る『彼等は豈夫本國が屈伏しようとは豫期しなかつたらうが愈々さなつて見れば彼の始末に戰前盛んに商取引を行つて居た

◇各商館は 是から商賣を始めようにも肩身が狹しこには屈辱的平和の餘波として本國の商品が思ひ通りに捌けるかどうかの點を懸念し苦しい思ひをして店を維持し自由交通の日を待つて歸國すると云ふ向きも出來或は店を他手に渡さずとも他國へ轉勤せんとするものもあるようだ』(横濱)

◎下關驛貨車轉覆

十二日午前八時四十分下關驛發上り第八百十六號貨物列車がその入換編成を了へ構内專用線附近千七百二號に牽引され發車點に向かふべく關門連絡交通路を横ぎる第五番線進行中同二十分運轉手の誤にて機關車に續きたる貨車一輛地に打つて轉覆し之れに次ける貨車一輛脫線せる椿事あり幸ひ貨車とも油を積込み乘車せしものなかりしため人命に異狀なかりしも損害は少なからず(下關)



◇スイロウウイ將軍と桑木砲兵大尉

◎チエツク軍の勇將

獨眼龍將軍を訪ふ

スイロウウイ少將曰く 小國の吾等は東洋の一小島帝國の偉大なる事を龜鑑としてゐる

◇居室を飾るマサリツク博士の肖像よ、ウラル菊よ!

十二月二十五日チエリヤビンスクにて　從軍記者　金谷眞

チエリヤビンスクに著いた十一月の二十五日、チエツク軍の總司令官スイロウウイ少將を司令部に訪うた、將軍は今ウラル正面にある過激派討伐軍の司令官であつてチエツク並に西伯利軍の指揮を執つてゐる、更にスイロウウイ將軍と同權の人にはウラルの南部オレンブルグ方面に哥薩克のズウトフ中將があるが此の兩者は共にオムスク以西の最高司令官ボルヅイレフ將軍の隷下に屬してゐる將軍の司令部は廣きチエリヤビンスク驛構内の列車の裡にあつた」二十三十とある幾條の引込線の中央銃劍付けたチエツクの步哨の立つてゐるを

▽展望車に 將軍を訪れると廊下の各室には副官や參謀の室があつて少將は最後部の展望車に記者を迎へた、將軍は記者の挨拶に對し『自分は日本の新聞記者として君が劈頭第一にわれ等の戰線に來たことを欣ぶ………』とまん圓い元氣相な顔で記者を凝視した、打ち見たところ將軍は普通路人の着る粗末な詰襟服で右眼は曾て露國の戰線で小銃彈の爲めに明を失した爲め黑い布を以て蔽うてゐる此の時ウラル戰線付きの日本武官たる參謀本部の桑木崇明大尉が『日本にも獨眼龍の有名な將軍があつたが閣下のも左様であつたか……』と氣輕い笑ひ話をすると『否々自分を勇敢な

▽日本軍人 に比較されては恐れ入るが然し小國のわれ等チエツクは東洋の一小島帝國があの通り強い偉大なる國であることを敬慕してゐる………』と眞面目に物語つた、將軍の下には北ウラルのエカテリンブルグ方面にガイダ少將があり中央カマ河の正面にリエボフ少將があり南方ウファ正面にカツペル將軍があるが共に露國とチエツクの聯合軍で一部佛の軍も混じつてゐる、將軍は勇敢なる日本軍が一日も早く來て此の方面の敵を一掃して呉れるとを望んでゐた、而し英佛軍は休戰條約の成立した今日餘りに日本軍の援を好まぬかも知れぬ、今や世界の戰爭は露國に於ける過激派軍對反過激派の戰ひのみとなつた、而も反過激派軍は南露ドン地方からも北進し來り北方アルハンゲルスク方面にも西部露都に近きあたりにも起つてゐる

▽過激派は 今や四方の攻撃をうけつゝあれど今のまゝでは容易に降るまいと思はれる、此の際日本軍たるもの友邦露國を此の戰禍から救ふ爲めに是非共肌脱ぐの要がある、辭して歸らんとすれば將軍は旗をウラル山頭に飜すの要がある、辭して歸らんとすれば將軍の背後にはチエツクの國士マサリツク博士の寫眞があつた、而して黄、白、紅のウラルの菊は日本の秋を偲ばしむるやうに咲き誇つてゐた、因にチエリヤビンスクの外國武官には英國からボーズ少將、佛國からは兵部次官で有名なピシヨン中佐、米國はハリス少將、支那は李海峰少將が居る

◎漢江の氷下に血染の屍體

京畿道楊州郡瓦阜面德沼里四百十五番地陶器商鄭銀吉(三八)は舊臘下旬江原道金化郡府南面島村里の朴某(四十)に對し陶器代金を周旋すべしと欺き其周旋料として金十五圓を朴より受け取り乍ら

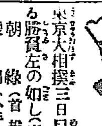
▽約束を 履行せず朴より周旋料の返還を迫られたるを憤り朴を撲殺し所持金十圓を奪ひ屍體を漢江に投棄し居たること京城憲兵分隊に於て内偵中漢江の氷の中に血染の屍體を發見し捜査の步を進めたる結果前記の犯罪事實あるを突き止め十二日自宅潜伏中の加害者鄭銀吉を

▽檢擧し 目下分隊に於て取調べ中なるが鄭銀吉は實母と共謀して右の犯罪を敢てせし形跡ありと云ふ

◎金玉姫は侍女に内定し居らず

十四日朝刊に私立同德女學校生徒金玉姫(一九)が卒業後王世子殿下の侍女たるに内定せる旨既報したるが右は某々有志の希望にして特別内定したる譯に非ず李王職にては未だ何等の詮衡もなし居らずと

東京大相撲 春場所三日目



東京大相撲三日目(十四日)の主なる勝負左の如し(東京特電)

朝綫(首投げ)太刀光
綾錦(小手投げ)荒石
八重高(引き落し)野州山
光風(突き出し)鶴渡り
鴇の海(突き出し)東雲
太刀光(押し切り)伊達錦

太刀光は重複するも取敢ず電文の儘掲ぐ

神力(突き出し)浪泉
鬼鹿毛(凭れ込み)長門洋
大の里(掬ひ投げ)若葉山
大岬(押し切り)八甲山
綾川(打ちやり)敗島
琴ヶ浦(寄り切り)達の矢
笠山(小手投げ)一湊
白岩(押し切り)駒泉
福柳(引分け)大鳴門
兩國(寄り切り)清瀨川
宮城山(浴せ倒し)大の高
常の花(突き放し)藤の川
釋迦嶽(寄り倒し)朝汐
大錦(浴せ倒し)黒瀨川
栃木山(押し倒し)紅葉川

中入後

友の浦(叩き込み)阿蘇嶽
宇都宮(打遣り)若湊
三杉磯(引き落し)岩木山
對馬洋(小手投げ)大戸平
千葉崎(凭れ込み)源氏山
九州山(吊り出し)大潮
鳳(押し倒し)大門岩

右の内▲長門洋に鬼鹿毛は右四つに長吊らんとせば鬼右外掛け蹴たれ込みて勝▲大の里に若葉山は突き合大右差し掬ひ投げを打つて勝▲八甲山に大岬 岬右差し左にて敵の肩口を押へ押し切つて勝▲綾川に敗島 左四ツ互に捲廻し引くや敗鋭く吊り綾打つ遣つて勝▲達の矢に琴ケ浦 達左筈鋭く責め付けたるも琴文へ二本差となり寄り切つて勝▲一湊に矢筈山 矢筈右差し寄り湊敵を差して抱へ取つたりに行かんとするを矢筈隙さず小手投にて勝▲駒泉に白岩 駒鋭く突き押へ三度素首落しを試みしも白好く殘し諸筈押し切つて勝▲福柳に大鳴門 福の聲援盛んなり立つや右四つ兩直右打遣りを試みしも利かず福更に上手投げを打ちしも極らず寄り合ひ鳴ち掬ひを投三度び打ち福よく殘し喰ひ下りじりじ寄り水入り後遂に引分けは大喝采▲兩國に清瀨川 兩は清の右を引掛け小手振り背泳ぎつゝ兩の右足を取りしも兩屈頭け右に敵首捻を謀れかゝつて寄切つて兩の勝▲宮城山に大の高 大二本差し宮廻し引いて吊り土俵際に浴びせ倒して宮城の勝▲常の花に藤の川 好取組突合ひ常左上手廻しを引き投げを打ち殘すを突き放して勝

▲釋迦嶽に朝汐 釋迦巧に二本差し朝に閂に撓め振りしも利かず釋迦捻りみせつゝ寄り倒し釋迦の勝は滿場の大喝采▲大錦に黒瀨川 も好取組の一たり立つや左四つ錦吊りに行き黒土俵際に押し立て投げ打たんとするを錦踏みて浴びせ倒して勝▲栃木山に紅葉川 は突合ひ栃左矢筈押し倒し勝にて中入▲友の浦に阿蘇嶽 は突合ひはたき込んで友の勝▲宇都宮に若湊 は一合右四つ宇都片手出しさんとし若腰鋭く寄り詰めしを宇都打つ遣つて勝ち▲岩木山に三杉磯 は激しく突合ひ三杉敵右とり引き落して勝

▲對馬洋に大戸平 は左四つ大戸掬ひ投げ打てば對馬小手投打ち返して勝ち▲源氏山に千葉崎 は好取組左四つ千葉一散に寄り立て土俵際にて右外掛蹴たれ込んで勝ち

▲九州山に大潮 は當日第一の好取組双方の聲援耳を聾せん許りなり立ち上がる九の出花を潮いなし泳ぐ所を右逆し右四つとなり互に吊り合ひ吊り出して九州の勝ち▲大門岩に鳳 は突合ひ諸筈打ちし倒し鳳の勝ちにて五時十分打出し

▽四日目取組

十五日(四日目)の取組左の如し

摩耶颪　稲錦
鶴見藤　花の山
射水川　菊地川
神力　友の浦
大の高　達の矢
大鳴門　宇都宮
清瀨川　一湊
千葉崎　大門岩

中入後

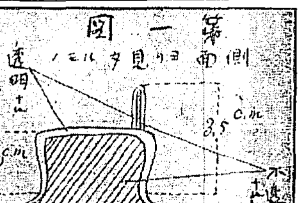
敗島　大の里
黒瀨川　宮城山
紀の川　獅子ヶ嶽
阿久津川　龜田川
浪錦　陸錦
太刀光　八甲山
白岩　岩木山
琴ヶ浦　時津風
若湊　常の花
鳳　對馬洋
鬼鹿毛　綾川
朝汐　福柳
小田山　若常陸
若太刀　寮禍
男島　今出川
阿蘇ヶ嶽　若葉山
大戸平　兩國
大潮　源氏山
紅葉川　九州山
矢筈山　駒泉

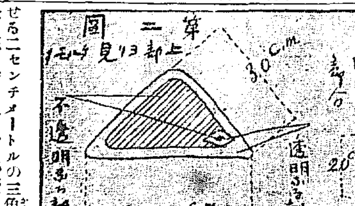
◎異常の氷柱

測候所の蒸發計に

十日來高氣壓は滿洲方面にありて七七四粍を示し低氣壓は日本海方面にありて七五六粍を示し漸次東方に遁滅せり十四日二時の氣温は氷點下十一度五を示し風位は前日來北西なりしが二十三時頃より北東位に逆轉して風力微弱へ次晴れを示したりしが六時觀測の際發生せる期は詳ならざりしも前日十八時十粍の清水を注入したる蒸發計内に左記見取圖の如き異常氷柱を觀測したり而して蒸發計内に於ける其の狀は水面稍南方に偏し直立

◇場外蒸發計の異常氷柱見取圖◇





せる二センチメートルの三角形椿狀を呈し其の上に不整菱形の小氷柱突出して其高さ一、五センチメートルを測れり三角形臺の長邊は約四センチメートル短邊は殆ど等邊にして三センチメートルなり! 其二個の氷柱共外部は透明なりしも内部は不透明なり!(十四日京城測候所談)

電話至急入用 八五五番へ

藤の川 三杉磯
栃木山 大錦

右の内朝潮に福柳は本社懸賞の好取組なり

◎高等警察講習會

京畿道警務部高等警察係にては二十七日より三十日迄三日間高等警察事務講習會を開催する由

◎講道館の鏡開

講道館朝鮮支部に於ては來る十九日の日曜を期し午後一時より黄金町二丁目貴族會館構内道場に於て盛大なる鏡開きを行ふべく其次第左の如し

一、紅白勝負　一、五人掛　一、形　一、昇段式　一、支部挨拶　一、鏡開

◎あさひ石水好評

京城府在中の講談師あさひ石水は昨今各所銀行會社乃至官吏倶樂部の新年宴會に招かれて得意の快辯を揮ひ居れるが一夜に二三回の掛持をなすことは珍らしからずといふ

登録商標

毛を黒く長くつやを出し
赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙
本舗 大阪西横堀 三宅堂

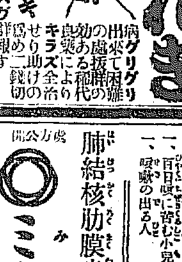
花柳病外科專門
梅毒・淋病・泌尿生殖器病
睾丸病・肛門病・皮膚病
婦人病・神經衰弱・ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院 電話三〇六五番

能治
蛔虫諸症疳蟲蟲熱
夜泣の蟲。乳あまし
蟲腹痛み。疳熱の蟲
蟲胸惡く。勞熱の蟲
蟲せき。驚風の蟲
近來粗惡なるもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ

岩崎大海堂セメンシナ菓子
美味なる ▼虫下し最良藥
商標 大阪天王寺鳥居前角 本舗 岩崎大海堂 ▲内外藥店にあり
定價 五錢 十錢 廿錢 五十錢

美味なる虫下し最良藥

るいれき



ルイレキ
病グリグリ出來て困難の處抜群の効ある良藥により キラズ全治せり詳報す 御希望の方は二錢切手封入申越の方にスグ
播州明石郡役所前 浦山家本邸

壹千五百組限り
上等毛布
二枚一組 一圓五十錢
東京市日本橋區本石町一丁目問屋關谷商店にて前記上等品を始めたが品は平素信用ある同店一流の出來ね 色柄の善き洵に直段の割に安い事は此の二枚一組一圓五十錢特製品四圓三十錢白毛布四圓五十錢上等の二枚一組 … 破天荒の大見切をなし且同店七十八週年の紀念として メツキでなき自然色柄の一組の注文毎に一個宛の進呈をなすと云ふ因に希望者は必ず切にならぬ内ハガキで申込ばなど

處方公開 主要成分 適應症候

頑固なる喘息百日咳其他咳嗽を鎭むる
◎ミツワ鎭咳錠
百錠 金壹圓五拾錢

アノイミン、安息香酸、フエナセチン、ブロームカンフル、ミルトール、アルテア根末、茴香末(詳細は説明書にあり)

喘息、百日咳、咽頭加答兒、氣管枝加答兒、肺結核、肋膜炎等總て呼吸器病の爲咳嗽の出る場合

呼吸が苦しく促迫つて、咳嗽が盛んに出て、冷汗の出るほど苦しい喘息や百日咳、又氣管枝加答兒や肺結核又肋膜炎、其他種々の呼吸器病に罹つて、咳嗽の出る場合にはミツワ鎭咳錠を服むに限る。本剤は煩はしい苦しい咳嗽を止め、痰の分量を減らし、痰を喀出し易く、呼吸や痰の臭氣を除き優秀な鎭咳藥である。

▼如斯人は◎ミツワ鎭咳錠を用ふべし
一、喘息に惱む人　一、呼吸の促迫る人
一、百日咳に苦む小兒　一、氣管枝加答兒の人
一、咳嗽の出る人　一、痰の多く出る人
一、痰、絡れる人　一、肺結核や肋膜炎で咳嗽の出る人

肺結核肋膜炎等結核性疾患に卓効ある
◎ミツワ結核錠
百錠 金貳圓

メチーレンブラウ、クレオソート、炭酸グアヤコール、規那エキス、乳酸石灰、キニーネ、龍膽エキス、茴香末、メントール(詳細は説明書にあり)

肺結核、肺尖加答兒、氣管枝加答兒、肋膜炎、腹膜炎、腸結核、腺病、百日咳、其他總て結核性の病症

咳嗽や痰が出て、發熱して、身體が怠倦く、營養が不足となり顔色も惡くなり、身體も衰弱へ又肺結核、即ち一口に謂ふ肺病を始めとし、又肺結核を起て易い腺病や百日咳、其の他肺尖加答兒や腸結核又肋膜炎や腹膜炎等總て結核性の病氣には、ミツワ結核錠を用ふるに限る。之を服めば咳嗽も痰も熱も輕くなり食物の消化を進めるから、頓て營養が良くなり、貧血も癒り身體は强壯になり、續けて用ふれば効力が倍々加はる。

▲如斯人は◎ミツワ結核錠を用ふべし
一、肺結核や肋膜炎又腹膜炎で熱の出る人
一、咳嗽が出る人…痰の出る人…熱の出る人…食慾の無い人…胸の痛む人…
一、呼吸の苦しい人…盜汗の出る人…身體の衰弱へる人
一、貧血する人…榮養の惡い人…下痢する人…
一、腺病質の小兒　一、肺尖加答兒の人　一、慢性腹膜炎の人

感冒を治し解熱及鎭痛の効驗顯著なる
◎ミツワ解熱錠
三十錠 金廿五錢　百錠 金七拾錢　二百錠 金壹圓

フエナセチン、アセチールサリチール酸、香末(詳細は説明書にあり)

感冒、流行性感冒、急性及び慢性關節レウマチス、筋肉レウマチス、種々の神經痛、以上諸病に因る發熱及び疼痛、俗に謂ふ痛風、寸白、肩癖

感冒の爲に熱が出て頭が重く、鼻汁が多く出たり、咽喉が痛んだりすること、又レウマチスに罹つて關節なり筋肉なりが腫れて痛むこと、又頭痛や肋間其の他の神經痛に惱まされることは、ミツワ解熱錠を用ふるに限る。本剤は感冒やレウマチス又は流行性感冒等の熱を解くのは勿論、尚レウマチスや神經痛の疼痛を鎭めるもので、他の多くの解熱藥と異なり、胃を害ふことがない。

▽如斯人は◎ミツワ解熱錠を用ふべし
一、感冒に罹つた人　一、流行性感冒に罹つた人
一、頭が重く又は痛む人　一、氣管枝炎で熱がある人
一、鼻汁が多く出る人　一、肋膜炎で熱が出たり
一、咽頭が腫れて痛む人　一、胸の痛む人
一、扁桃腺が腫れて痛む人　一、リウマチスの人
一、腰が痛い人　一、寸白で腰の痛む人
一、肩の凝る人　一、關節が腫れて痛む人
一、神經痛の人

家庭治療法　定價の半額即ち廿五錢を郵券にて御申込あれば送呈す

第十二師團…り凱旋し來る廿八日門司…さし二月に亘り凱旋の筈なるが之に對し「祝凱旋」の大額を掲げ各々の…が爲め山口福岡長崎熊本佐賀大分入りたる社を樹て裝飾を施し尚夜…

…十箇年に延長すべき修正案を加州議會に提出さるゝに至るべしと傳へらるゝが其筋にも同様の情報あ…

大阪期米特電　十四日　前場　後場

下關期米(?)　十四日後場　寄付　高値　止め　三六、四〇　三六、四一　三六、二九

仁川期米

▲十四日後場 各地後寄末なりしも前場强硬の機先にて當三十三圓六十五錢より七十錢中十五錢と始まり十錢と押へ…
▲中限一節三十三圓十五錢七錢八錢平均値十七錢一節十六…三節十七…

平均値段
一節 三十四
二節 三十四五十
三節 三十四十九
四節 三十四十七

母と子 (七十九)

北島春石作 森田久畫

暖香園(二)

逸早くもそれと見た朔平は、さも不服がましく舌打して、

『おい！志保子。』と、強て憤怒を押し殺した聲で呼びかけた『お前の我儘にも呆れたもんだ。これ見ろ、俺はこの通り藥鑵に大汗を搔いてしまつたぞ。』

『でも、お父さん。』と、志保子は憔悴して蒼白めし顔もあげず、物の影のやうに座敷へ入つて來た。

『何がでもお父さんなんだ……何でもいゝから、まあ此方へ入れ。』

朔平は疊を叩かんばかり、志保子を我が膝元へ坐らせた。

『さあ、係うなつたらもう逃げ隠れもされねえ。何も無理往生に觀念しろぢやなく、こゝは一つお父さんを助けてくれ。』

『そんな御無理なことを仰有つて……今更わたしが結婚されるか何うか、お父さんこそよく考へて見て下さいまし。』

『俺はな、今度こそは十分に考へ抜いたのだ。岸上家から離別されてから丁度三年間、何處から緣談がかゝつても耳に入れなんだのは、夫婦の仲に幸枝といふ娘まであるから、何うかして元の鞘へ納まるようにとの親の慈悲だ。ところがこれ程に苦勞した親心を有難いとも思はず、俺が留守にした間をねらつて家出したばかりか、森泉の老耄と共謀になり、岸上から幸枝を引拐けて一緒に暮してゐたとは何事だ。姉のお前が飛んだ手本を出たお蔭が、淡紅子までが七千圓の金を盗み出て隨興寺を極め込む始末。其もこれも皆なお前の罪なんだ！親に對してその罪を償うたいのならば、ちつとは無理と思つても承くのが孝行ぢやないか。東京から此伊東へ來た後、毎日々々の膝詰談判に、俺も口が酸ばくなれば其方も聞き飽きた筈だが、こゝでお前から不服だと強情を張られて見ろ。默つて獄行きか自殺か、俺はその二つの内一つを選ぶ外はないんだぞ。』

『………』

『おい！志保子。』と、朔平は重ねて返事を促した『あゝして、うまく〳〵と幸枝さへ取返された程だから、もう岸上へ御縁の見込みが絶ゑたと解りながら、お前は未だ親に楯を突くつもりか。いやさ、俺がこゝで自殺しようと、それも〳〵納だと笑つて見物する氣か。』

『いゝえ、そんな事はございません……』

『ぢや、お父さんの休顔を汲いてくれるか。お前の眼には、無理無體ばかり言ひ募る、さぞ情知らずの親とも寫るだらうが、三年間もお前に冷飯を食はしておいたばかりか、お増がブクブク腹れるのを宥めつ賺しつしたのは、決して並大抵な苦勞ぢやなかつたぞ。なあ、この通り禿た頭までさげて頼むのだ──どうか俺の心も察してくれ』

それでも志保子は答へんとせず、電燈の光りも眩げに面を背け、蒼白めた瘦頰に冷たい涙を流してゐたが暫くしてから深い嘆息と共に

『今までの事情を秘密にして、神崎さんと結婚いたすことが出來ないと、飽くまでもわたしから拒絶いたしましたら、お父さんは何うなさるお意でございますの。』

『すると、何か。』と、朔平は血眼を据て『係うまでに……何も彼も露け出て頼んだにも關らず、親の難儀が救はれんと言ふんだな。』

『………』

『宜しいもう解つた。』と、觀念の眼を閉ぢて襟を搔合せ『志保子、今までは無理ばかり言ひ募つて濟まなかつた。今夜こそすつかり覺悟を……もう神崎さんにも御面目ないから、俺が潔く自殺した後で、お前から宜しくお詫をしてくれ。』と忌まはしい遺言の沙汰に、魂が脱けた人のように、朔平はふらくと起上がつた。

それがこけ脅しの、狂言自殺とのみも思はれなかつたので、志保子は遽いて父親の袂にすがつた。

『何處へ……お父さんは何處へ行らつしやるのです！』

◎鮮人教員 内地視察團より

謹啓名古屋以來旅行全く多忙を極め候ため自然執筆の餘裕もなくついつい御無沙汰に相成候段偏に御諒知賜はりたく候本日一行無事釜山に上陸し午間解散仕り各任地に向け出發致候間御安心下されたく小生もこれにて荷を下ろしたる心地仕り心身頓に輕きを覺わ申候故茲に筆を呵して車上より最後の通信申上候、御一讀を得ば幸甚に御座候

◇十一月卅日結束宿を出で先三藏尋常小學校を參觀仕り候處校長親しく算術の教授を致し其主張を實現せんとせられし熱誠には一同感服仕り候終りて名古屋城にまゐり有名なる天守閣を其の下に立ち寄り見物仕候大阪城にて僅に其の基址を見たるものが此處にて其全形を見始て我國城櫓の如何に巍然たるものなるかを知りたる次第に之有候當城閣はかの加藤清正が自ら請ひて築きたるもの・由にて風雨三百年一枚の瓦も一塊の土も落ちず崩れず先年の濃尾の大地震にすら些しの損害もなく儼然として原形を保ちたることを聞き更に感歎致候

◇それより汽車にて安城にまゐりたるところ當日は入退所送迎の男女停車場に堆集し全く肩摩轂撃の有様宿屋といふ宿屋はいづれも滿員の姿なれば一同は八タと途方に暮れ候が漸く驛長の盡力にて一軒を搜し當て荷物を下し直ちに縣立農林學校に赴き申候安城の平原は維新前迄は全く水なく幾千町歩の平地は全く松樹の叢生に委したるを都築某氏率つて開墾に志し資財を蕩盡し心身を傾注し矢矧の水を注ぎて荒蕪を拓き明治の初年に不幸中道にして死したるにその遺志を紹ぎたるものありて全く其の功を遂げ今日の有様となれるもの・由今や流水貫流して全く水に饒なれば極目これ水田にしてただ處々の松林に往年の名殘を留むるのみに候綱氏今や神となりて祭祀を受くといふは實に左もあるべきこと遺德千秋と申す可く如何にも偉なることに御座候農林學校は誠に好個の設立地を選びたりといふべく現に一條の用水滿々として校前を流れ不斷に綱氏の德を誦するかに見ゆ學生に及ぼすところ尠少ならざるべしと被存候

當校の校長は山崎延吉氏にて農村自治の祖師農村改良の唱導者として有名なる人に御座候が當日は名古屋にまゐられしため親しく其高風に接することを得ざりしは一行の深く遺憾としたる事に之有候學校の施設はすべて實地實用を主とせられ居る哉に見ゆ書生の氣風も質實素朴なるは校長の風格の化かと存じ候當校は縣立に候へども生徒は遠く全國より集まり候由其上全國村落の有志の訪問も絕ず之有斯かる折には校長は諄々として農村改良の事を談じ時には講堂に入れて學生等と共に修身の講話を聽かしむといふ實に愉快なることに存じ候

此の夜は汽車にて東京に向ひ申候

十二月一日朝七時三十分帝都の人と相成申候が直ちに御歔装して宮城前にまゐり二重橋近くに進み敬しく御所を拜し申候昧爽の氣あたりに滿ち旭光鮮かに樹梢に映ずれども御濠には尚曉の色を浮べたり氣も心も澄みて自ら天子の御所の莊嚴神聖を味得したるを覺ひて感激いふべからず候

近頃よく賣れますキャラメルは滋養豐富血液增進のライオンキャラメルで有ます試に召上て御覽遊ばせ
京城本町 發賣元 徳永商店 電話一二三

京城本町 千代田錦印舗

日報歌壇

○ 那古井湛子

二十とせの年の始めの日記にはわびしきことかきつらねけり

水仙の眞白き花もしべの黄もわが淋しさによくもにるかな

四五日の雲ざけの様に消えて行くわが悲しさのうらめしきかな

水を打ちてよろこばむ日を待つからにわが悲しさもそこよりぞ來る

たまさかにくりやに立ちて女てふいみじき名にほほゑめるかも

○ 國田 葛園

白雲つもれる朝は水色の空の太陽のうらやけきかも

あかさきの枯草山に白きまりこゝだくむれて吹かれゐたるも

あられ餅ぶつぶつさなればふさはしけかすかに白き息を吐くなり

○ 三ケ尻秋村

鐵橋のかかれる河の小夜ふけに流るる星を見たりけるかも

馬小屋の白壁白く照らしつつ今こそほれ冬の夜の月

おちきなく君と別れむ日を思ひ夜ばみなく涙流るゝ

讀者の領分

驛の二三等待合のストーブに溫かい時がない……おんなおあさりならよし給へ(驛長へ一言行者)▲東旅館から本町へ出る道は絕すごこかの店の發送荷箱で歩くも通らぬ様にしてあるが何で許してあるのか知らん(腹痛)▲先日…に一二箱へ鴨と雁と各一羽づゝ小荷物で送つたら館に着いて中身は飛んでしまつて居たそうだ荷造の惡かつた爲めだらうか(死鳥復活)▲鐵家は三人暮しにて飯取つけの米屋へ一斗宛注文致居り別に桝を以て斗りたる事無之處折れ過日試験仕候處一升斗不足仕り候へ共今一度不正行為有之候はゞ用捨無く御府に訴へ申し上候(一…)▲長とか言ふものは三十一日の休みで何處かの家中でも私用の爲め一里餘もある處から役所へお叩頭しに來いと言ふのは何としても好いものでせうか(ふんがい生)▲水路夫人が併保の活躍に嫌つて何興に流出せしめしは何勿論眞相の後援有ね其の下に行ふ事(石提案す)

◎勞働問題の危機

北澤早大教授

…の大亂も漸くにして終熄し所謂產業復員の如きも▲案…

…殷の重大問題横たはり居れるに就ては何等留意する所なからんこするが…文戰…を擧げて餘力を之れに傾注し盡して居つた位である況んや戰害既に斂まりたる現在に於て益々…

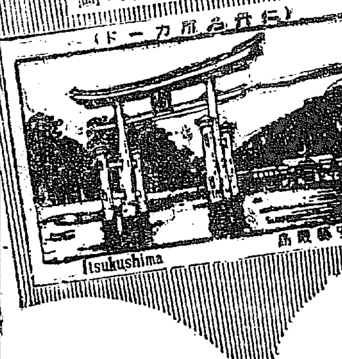
▲之が難問の解決に努力して居るのである然るに我國は…少數の識者を除き…

…非難するかも知れぬが事實這の問題が如何に到下世界の一大難問題たるかを…の進歩は假令如何なる問題と雖も決して二三僅少の國内に於てのみ終息することは不可能であつて…

▲縱しや今日我國に於ける勞働問題の解決が現在英佛其他諸國に於けるが如く緊要ならずとするも…感知するであらうのみならず現代既に幾多の實例は頻りに之れが解決の焦眉に迫れることを指示して…あるに至つては吾等の安心國家將來の爲め深き憂ひとする所である要するに現在我國に於ける勞働問…

消化と毒けし
三輪井上 両博士御方劑
本舖 森下博藥房
仁丹

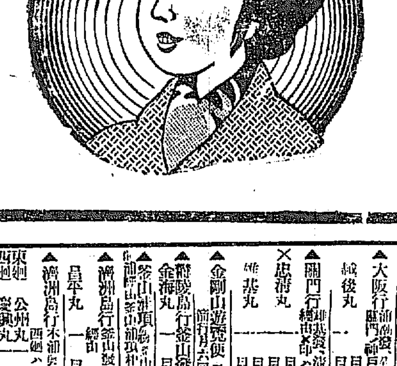
名所カード貫物入圖



この美麗なる原色版刷 名所カードは 金言容器付仁丹廿錢包に添付す

金言
全力全智を盡して失敗せる者は殆んどなし 西諺
愉快なる精神は善良なる人物を造る 西諺
(金言容器實物大圖)

お正月 笑顔 美しい歯
ライオン歯磨



ライオン歯磨本舗 東京 小林商店
(1023-7)

人參ニ優ル強壯劑
淫羊藿エキス
通稱三枝九葉草エキス
適應症 一、思考判斷及び記憶力の減耗を癒す 二、筋骨の疼痛を治し又疲勞を恢復す 三、… 四、老衰及病後の衰弱 五、血の道氣鬱症 六、子なき人に良し 七、貧血虛弱を癒し精を強くす 八、手足腰の冷ゆるに良し 九、陰萎遺精及子宮病に良し
主効 神經衰弱 胃腸病 ヒステリー 貧血症 腎臟病 ヒポコンデリー 腦病 生殖器病 老衰 リウマチス 精力減退
定價 …
全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
京城特約店 北島支店 山岸天佑堂

偽物あり注意詳細八日の本紙御覧
りん病 請合藥
ばい毒 請合藥
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會滿鮮本部
京城黄金町三丁目電車通り ドラッグ商會支店
龍山韓兵營電車交叉點前 同支店

◎日本郵船出帆

大連、秦皇島行 酒田丸 一月十三日朝出帆
淡路丸 一月廿二日正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
仁川港埠頭(電話十…) 取扱 回漕部

◎朝鮮郵船出帆

大阪朝鮮航路ノ外各航路ハ目下時局ニ付當分臨時運航ス…各地支店出張所代理店ニツキ照會アリタシ

▲敦賀行 浦潮經由 …
平安丸 一月…日 元山發
▲浦汐行 大阪發門司、釜山、元山、城津經由
平壤丸 一月…日 元山發
▲雄基行 …
成鏡丸 一月十五日 …
▲元山雄基線 …
鏡城丸 一月十八日 元山發
▲大阪行 …
越後丸 一月…日 元山發
▲關門行 …
忠清丸 一月廿六日 元山發
雄基丸 一月廿五日 釜山發
▲金剛山遊覽便 …
▲鬱陵島行 釜山發 …
金海丸 一月二十日 釜山發
▲釜山濟州島行 …
▲濟州島行 …
昌平丸 一月二十日 釜山發
東廻 西廻 釜山麗水線 公州丸 一月十九日 釜山發 隆興丸 一月廿六日 木浦發
▲木浦麗水線 …
順天丸 一月十七日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行
隆興丸 一月廿二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
晉州丸 一月廿二日 仁川發
▲海州行 仁川發 … 每日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
… 丸 一月 日 仁川發
▲大連、青島行 仁川發之罘經由
江原丸 一月二十日 仁川發
鮮內各港及社外船ノ取扱ハ本社支店及代理店へ照會アリタシ
本社 京城南大門通 電話長一九五二、二三三三
釜山支店 元山支店 仁川出張所 木浦代理店 京城代理店 …
其他各寄港地ニ取扱店